改築の新京公會堂 使用料金昨日決定

目的によつて三種に分け 營業使用は特別

新京記念公會堂の使用料金は十七日の常任委員會で地方事務所側の原案に多少修正を加へ左の通り決定した、甲種は記念公會堂自体の使用又はこれに准ずる公共的使用料金、乙種は其他の公共的使用料金でなほ丙種として講堂の純然たる營業使用料金は內規として大体の範圍を決めその目的如何によつてその都度料金を決定することゝしてゐるが乙種に較べて更に高くなることは勿論である(單位圓)

▲記念公會堂各室使用料金

室名	甲種 晝間	甲種 夜間	甲種 一晝夜	乙種 晝間	乙種 夜間	乙種 一晝夜
講堂	二〇、—	三〇、—	四〇、—	四〇、—	六〇、—	八〇、—
同附加料金(煖房費)	五、—	五、—	八、—	五、—	五、—	八、—
第一集會室	七、—	一〇、—	一七、—	一〇、—	一五、—	三〇、—
第二集會室	二、—	四、—	五、—	四、—	八、—	一〇、—
第三集會室	二、—	四、—	五、—	四、—	八、—	一〇、—
第四集會室(商工會議所貸與)	二、—	四、—	六、—	四、—	八、—	一三、—
第一談話室	一、—	二、—	二、五	二、—	四、—	五、—
第二談話室(商工會議所貸與)	二、—	四、—	六、—	四、—	八、—	一三、—
第三談話室	二、—	四、—	六、—	四、—	八、—	一三、—
第四談話室	二、—	四、—	六、—	四、—	八、—	一三、—
第一豫備室(在郷軍人會貸與)	〇、五	一、—	一、二	一、—	二、—	二、五
第二豫備室	〇、五	一、—	一、二	一、—	二、—	二、五
娛樂室(商工會議所貸與)	四、—	七、—	一〇、—	五、—	八、—	一三、—

行に三日間の準備日數と歸還日數を加算すればダンテとして費用仆れとなる爲め、ダンテ側より、契約の未興行日數九日分(一日分四百六十圓の割)を新京に於て支拂ひ呉れるか、奉天で打切り無條件解約かの二途の要求に依り遂に解約の止むなきに至りたるもの ゝ 如くである

同團が大連奉天間往復に要した諸經費は一千五百圓と稱され、滿洲に於ける大物興行は時期尚早と噂されてゐる

祝賀式と市民招待會

既報、新京公會堂の落成祝賀式並に市民招待會の順序は左の通り

△落成祝賀式

二十五日午前十一時より公會堂講堂で擧行

一、開會の辭 常務理事
一、挨拶 理事長
一、工事報告 建築係長
一、來賓祝詞
一、開宴
一、余興(杵屋師匠連の長唄)
一、閉會の辭 常務理事

△市民招待會

二十五日より二十七日まで三日間、毎夜正五時三十分から開催(寄附者に對する招待券發行)

一、開會の辭
一、經過報告
一、挨拶
一、余興(映畫、子供舞踊)
一、閉會の辭

滿洲興行界

大物進出時期尚早か

ダンテ上演取止めの眞相

さきに松竹興行會社の手に依つて(キヤランチー日建米貨[illegible]內地共絶大の人氣を博したダンテ大魔術團は地元主催者と、荒分五分五厘(食費ダンテ持)打日二十六日間の契約で來滿したが大連に於ける興行成績振はず、同團の平均收入一日四百五十圓にしか當らず(常盤座及安濟大舞台上演)奉天に於ては滿洲側審陽電影院上演不能の爲め、奉天劇場のみの上演となり、僅々四日間しか上演出來ず加ふるに、大道具、大仕掛け(道具建六十五噸)で準備日數大連發奉天上演まで三日間を要し結局ダンテ團の收入は團員の給料及宿泊料に滿たず、それが爲めダンテ側の申出に依り、奉天劇場一日の日延べと日建四百七十圓のギヤランチーを興行主に於て支給する事を承諾した、然るに奉天劇場の都合で日延べ不能となつた爲めダンテに開演中居直りを受け、興行出來ない日延べの一日分を餘分に卷き揚げられて漸く閉幕し危く觀衆に迷惑をかけず事なきを得たが興行主としてはダンテの不德に對し危惧をはさみ新京に於て觀客滿員中に再び奉劇に於けるが如き行爲に出られては面目に關する事と爾後の件に對し保證を求むべく嚴重に交渉の結果、新京三日間の興

清朝發祥からの歴史 「滿洲實録」出版

滿日文化協會に委囑

清朝發祥からの歴史「滿洲實録」の出版に就て滿日文化協會の小野梅曉氏が先頃來京ヤマトホテルに投宿、滿洲國政府當局と打合中であつたが、愈よ具体化し滿洲國政府の事業として出版に着手することゝなつた、之に就て專門委員ならびに出版委員の人選が行はれ、專門委員に王希烈、趙文恒、小野玄妙の三氏、出版委員に羅振玉、榮厚、許汝芬、丁士源、池內弘、羽田亨、小野梅曉の七氏が推され、滿日文化協會に一切を委囑の形式で總費用は國幣二十八萬圓が計上され印刷は四千余部十二萬枚を大藏出版協會の手により寫眞版とするもので既に三千燭光の燒付器四台は奉天に準備しあり直に操作に取りかゝるが豫定數五百部を刷り上るには約十八ヶ月を要する見込みであると

內地人禁制品屋を襲つた賊 谷口刑事が逮捕

昨年內地人宅を襲つた拳銃強盗が總領事館署の大活動で逮捕された、長春縣新京管家屯生れ住所不定常軍こと李甫臣(二八)は昨年九月祝町五丁目十二番地阿片商島龍ツヤさん方に二人組で押入り實揚金三十圓、禁制品五百圓余を強奪し禁制品を南關滿人質店に入質逃走してゐたが最近市內に潜入してゐるを總領事館署谷口刑事が探知し犯人の立廻先である阿片窟を捜査の結果十七日午後六時ごろ朝日通モヒ商柱方に立廻つたところを發見逮捕し身柄を引致するとゝもにモーゼル拳銃一挺を押收した

逃走酌婦逮捕

東站料理店第二朝日抱へ酌婦千鳥こと長谷川ツヤ(二三)は情夫尾木勇(二四)と共謀し前借四百五十圓を踏倒し逃走十七日午後九時十分新京着列車で來京したところを東站總領事館分所の手配で新京署神田巡査に逮捕された

迫るクリスマス 廿五日の由來

皆さん御存じてす?

クリスマスを十二月廿五日と定めたのはいつの頃であつたかそれを知るべき確かな文獻がないが一説にはテサロニケ人が知事に反抗したといふのでその嫌疑者七千人を大劇場の中で虐殺したテオドシアス王がイタリーのミランの教會堂に入らうとした時、「多くの人を虐殺したる罪惡の手をもつて神を禮拜することは出來ない」と云つて斷然會堂に入ることを禁止したので有名なアンブローズといふローマ會の監督が未だ地內の知事職にあつたころの事である、彼は一人の美しい妹をローマの尼院に送つたその時教會の監督が彼女に對して「多數の人々は今日しもキリストの誕生を祝ふためにかくの如くこの一堂に集つてきた」と語つた、その日が西暦三百六十年の十二月廿五日であつたのでキリストの降誕を十二月廿五日ときめてしまつたのだと云はれてゐる、キリストが生れた年は今から一九三四年前たといふのが普通の説であるが近時學者の研究では四年の異算があつて、紀元前五年の十二月に生れたのだといふことになつてゐる

語學講習所卒業式 盛大に擧行さる

滿洲國政府ではかねて日滿親善並に官衙事務促進のため語學講習所を設けて日滿官吏に日滿語の習得を奬勵してゐたが十七日午後五時より室町小學校で滿洲語科八十四名、日語科百四十三名の第五回卒業式が鄭文教部大臣、西山總務司長等出席の下に盛大に擧行された

王道の榮光に 歸順匪續出

王道の光遍ねくこれまで全滿各地に蕃居してゐた匪賊も漸次正道に轉向する者續出し、建國以來絶間なく行はれた治安工作機關の功績は漸く表面に現はれつゝある現況であるが、去る十月廿八日より十一月廿六日に至る吉林省內に於る歸順匪は左表の如くである

歸順匪名	蕃居地帶	歸順動機
王洪章	大鍋	匪團解消
李玉芳	樺縣境	同前
徐桂山	盤北地區	討伐
紀雲峰	朝陽山	同前
班茂富	盤石縣	自發
夏萬奎	細林河	匪團解散
徐客賤	盤南地區	自發
滿春堂	吉奉縣境	討伐
李樹臣	大鍋	討伐
欒景貴	樺下	自發
張成業	大鍋	匪團より逃走
田九成	磐石縣	同前
姜元計	同前	自發
王洪才	三個項子	同前
衣德元	同前	同前
劉永信	同前	同前

右歸順匪は殆んど總て農業出身者であるからやくざな匪賊稼業より足を洗へば歸農したいと希望して居り、治安委員會、協和會等の各機關も夫々善後措置をとつてゐる、尚歸順に際し調査した所に依ると彼等が投匪するに至つた動機は左の如くであるが、注目すべきものがある

一、拉致され投匪した者 五
一、周圍の環境より投匪 三
一、勸誘によるもの 三
一、所屬軍隊に叛出でたる者 一
一、匪首と同郷により 一
一、家庭不和 一
一、生活不如意より 二

年末年始を利用 支那見學團募集

希望者はビユーローへ

ジヤパンツーリスト、ビユーローでは大連汽船會社の後援で恒例の年末年始休暇利用の第五回上海、青島視察團体及び第二回北平、天津視察團を全滿から募集中であるが北平天津行きは早くも定員廿名に達して滿員の盛況ぶり、上海青島方面行きの日程は十二月三十日午前十一時大連出帆の青島丸で大連出港三十一日早朝青島着市內見學、同日正午發翌一日上海着、二日上海滯在市內見學、三日自由行動、希望者は自動車で杭州視察、四日青島丸で青島へ、五日青島で自由行動、六日正午大連着解散、團費は大人金六十五圓、小人金五十一圓、杭州行きは金十六圓增、なほ沿線各驛、大連間往復は自拂、希望者は二十三日までに豫納金五圓を添へて各地ビユーローへ新京のビユーローは驛前(電話三三九三、四七七二)へ

明月溝守備隊 數百の共匪を撃退

【吉林國通】明月溝守備隊の石田特務曹長以下〇〇名は十四日午前四時頃明月溝南方十キロの地點に數百の共産匪出現の報に接し直ちに出動、神仙洞附近に於て敵匪と遭遇、交戰一時間にして完全に之を撃退した此の戰闘に於て一等兵清宮正芳氏戰死、特務曹長石田溥氏以下兵五名重傷、兵六名輕傷を負つた

新站駐屯の村田部隊 匪賊を撃滅

【吉林國通】新站駐屯村田部隊の土田〇隊は十五日午前十時頃舒蘭縣境老河深に於て約百五十名の匪賊と遭遇、同夕刻まで交戰實に七時間に及んで潰滅的打撃を與へて撃退、敵の遺棄死體數十、馬匹十二頭を捕獲した、此の戰闘に依り一等看護兵荒木龜夫君は左前足盲貫銃創を負ふた

部下五十名を從へて 匪首双山歸順

【吉林國通】圖寧線東京城西北地區に於て多年暴威を揮つてゐた匪首双山は皇軍の武威と滿洲國の仁政に屈し子飼ひの部下五十名を從へ十五日歸順式を擧げ小銃四十四挺、拳銃三挺を提出した、歸順匪は全部歸農する筈である、尚双山は自己の勢力圏內にある匪賊全部を歸順さすべく山に入つた、近日中に之等の群小匪賊數百名を引率して山を下るべく、かくて東京城附近には完全に匪影を沒する日も遠からずと見られてゐる

歳末狂躁曲

キレイなダンサーを腕に (4) 誇り顔の男 ホーキは禁物……ホールの卷

「始めたら止められない」といふ社交ダンス、そして「踊らない人には解らない」といふダンスの氣分、新京に二つしかないダンス、ホール「キヤピタル」と「新京會館」は踊る人達だけしか知らない魅惑の世界を師走の宵に華やかに展げてゐる

▽……△

保發した感傷がジヤズの音だサキソホーンは若い人達の胸を掻きむしつてホールに反響してゐる若い男と潑溂な女性の體臭がごつちやになつて脂粉の香がムッとする、熱つぽい頬と頬がかすかに觸れて入り亂れたステップに何もかも上氣してゐるのだ、成程これだけは觀るものでなさそうだ高島田の姉さんが、つまり藝者が重そうな頭をさもうるさげに踊つてゐる、恐らく閑が有り過ぎた果に勇敢に乘り出したのだらう、若いマダムがこゝぞとばかりに若い男にしがみついてゐる、舞妓さんの足取りは罪がなくていゝ職業的ダンサーとなると一風變つてゐる、いやこれがほんとでるのだ、ダンサーの踊つてゐる顔をみてゐると「そんな筈はないが」といつた氣持に襲はれる、つまり彼女達の面にけげな極めて感激から遠のいた氣持が窺れるわけなのだ、曲濟むとテイケツトが一枚、今まで親しく踊つてゐた同志がその時だけは顔をそむけて男の手から女の手に渡されるきつと職業意識を餘りに現實的にむき出しにしたくない男の優しい心と素直にその氣持を受け容れたダンサーの氣持から生れたホールの上品な習慣なのだらう、文化といふものはそんな所にあるものらしい、西洋人が文化といふものは露骨でないもの、中に、單的でないもののなかにあるものらしい、尤も西洋でなくても日本でも現代の文化の到るところで見受けられる現象であらう、こうなると文化などゝいふものは七面倒な廻りくどいものだ

▽……△

一曲終つて腰を下すとたんに次の曲が演奏される、どうしても美しいダンサーに人がたかつてゆくのは人情の常だ、早い早い、はやぶさのやうにキレイなダンサーの腕に一番乘りした男性の勝ち誇つたやうなその幸福そうな顔を見よ覗つた相手を奪はれてあつちこつちとステップを運ぶ男のことをホーキといつてダンサー仲間では大の嫌はれもの、だからといつてテイケツトさへ買れさへすれば彼女達は商賣だ、だからホールのダンスは一方的な男達だけの陶醉の世界ではないだらうか

▽……△

桃色の夜は更けて、ダンサーの足もスリゴキのやうになつてしまつて、狂亂の後の寂寥がホールの隅々にうずくまつてゐる、また夜が明けて宵暗迫る頃ともなれば幸福そうでもない男達の情感をそゝつて高らかに朗らかにサキソホーンがホールの窓から流れ出るクリスマス、イヴももう間もない

飯塚東亞產業協會主事 視察歸京談

東亞產業協會主事飯塚秀氏はさる十五日から南滿各都市の產業視察のため旅行中であつたが十八日午前六時卅五分新京着列車で歸京土產話を語る

一寸遊ひかたがた奉天、遼陽、鞍山、熊岳城、撫順など視て來たが一番景氣のよかつたのは撫順だね、政治都市より產業都市、工業都市の方が遙かに景氣で活氣があり又有望だね、その點からみると新京のやうな政治都市は大したことはない從つて金儲けも少ない

佐藤警佐榮轉

首都警察廳特務科勤務警佐佐藤實氏は吉林省德惠縣警務局勤務を命ぜられ兩三日中に赴任するので十八日挨拶に來社

新京取引所幹部催宴

伊藤新京取引所長、山下同信託專務は十七日午後五時から在京新聞通信關係十余名を八千代舘に招待、忘年會兼懇親の盛宴を張り歡談八時半頃散會した

四戸氏自宅電話

永樂町三丁目四戸友太郎氏の自宅電話開通番號は六五〇八番

松本編輯局長電話

本社松本編輯局長自宅錦町三丁目七番地へ今回電話開通、番號は六七三六番

寄附

日本橋通二十二番地齋藤定氏は十七日新京署を訪れ金十五圓を同署貧民救濟金資金に寄附した▲同番地黒川實氏は同じく現金五圓を寄附した

仙人掌

八千代館の福千代、ノドをいためたさうで、彼女のいふことは、耳を寄せて聞かないときゝとれません▲恐らく忘年會だ懇親會だと夜晝なしの宴會つゞきの飲みつゞけ、うたひつゞけで、いためちやつたのだらうと大に同情を寄せ慰問の辭を呈しやうとすると、彼女惡口をいふものと早合點、エ、もう出て來ましたのよ、と先手を打つてしまふ▲珍らしい模樣の帶おはん、帶屋なんて千社札のくみあはせが目についたので眺めてゐると▲あゝこれ、これはうちの長右衛門がね……と、こつちが顔まけしてだまり込むよりしかたがなかつた▲彼女今年二十四歳、亥歳うまれ、來年はキミ達、亥歳萬歳の年だといふと、こればかりは、あらアどうして知はつた?、と首をひねつてゐた

けふの銀相場

金票對國幣 一〇八圓〇〇錢
金票對鈔票 一二六圓九〇錢
鈔票對國幣 九三圓一〇錢
現大洋對鈔票 一〇八圓三〇錢

本日最低氣溫

零下十五度三分

同情週間寄附者

地方事務所扱ひ(單位は錢)

▲高橋(五〇)▲桝富しま(二〇)▲安藤四郎作(三〇)▲柳田マツ(一五〇)▲中島滿子(三〇)▲紙屋(二〇)▲大和藥房(五〇)▲江戸屋(一〇〇)▲神戸軒(一五)▲石川新一郎(五〇)▲岡本榮(二〇)▲村田逍遥園(一〇〇)▲梅屋旅館(一〇〇)▲鳳島フジエ(一〇〇)▲河西一美(二〇)▲門松ツナ(三〇)▲北村理髪店(五〇)▲上田チマ(二〇〇)▲保坂トモ(一〇)▲寺本はつゑ(五〇)▲桑田ツヤ(一〇)▲友納專枝子(一〇)▲堀江茂(一〇)▲宮本豐孝(一〇)▲塲つるじ(一〇)▲井平ツネ子(一〇)▲勾梅コト(一〇)▲吉田睛店(一〇)▲松岡小作(一〇)▲佐々木トモヱ(一〇)▲眞木ミマ(一〇)▲竹內かじ(二〇)▲大社ゆりゑ(二〇)▲松本增平(二〇)▲川田ソエ(二〇)▲笠岡ゆさ(一〇)▲無名(五〇)▲同(一〇)▲同(一〇)▲宮原勢代(三〇)▲小野武治(一〇)▲奥村ユリ(一〇)▲宮木茶店(五〇)▲四戸友太郎(一〇〇)▲四戸イト(五〇)▲四戸春生(一〇)▲四戸富貴子(一〇)▲張會三(三五)▲重田秀吉(五〇)▲山本(五〇)▲高舘正吉(五〇)▲張有陸(五〇)▲温玉銘(五〇)▲常鳳桐(五〇)▲陶桂闇(五〇)▲大隈勘次郎(二〇〇)▲植松金枝(一〇〇)▲宮永文雄(一〇〇)▲松下眞二(一〇〇)▲福井はじめ(一〇〇)▲福川元龍(一〇〇)▲佐々木衛吉(一〇)▲篠塚芳一(一〇)▲樋宮庚午(一〇)▲渡邊英(五三)▲木村孝吉(五〇)▲野村生(一〇)▲松永健次郎(一五)▲岡部泰人(一〇)▲森園義榮(一二)▲高橋弘(一〇)▲中田善美(〇五)▲橋口榮重(五〇)▲中井イサヲ(一五)▲安部六郎(三〇)▲大貫太郎(一〇)▲田村武路(二〇)▲中非鐵之助(一〇)▲古米宣治(五〇)▲大迫元光(五〇)▲小潟惣一(二〇)▲横山春子(二〇)▲黒澤正造(二〇)▲佐藤鶴鑑人(三〇)▲千布高正(五〇)▲其他有志(二五〇)▲三株工業有志(二〇〇)▲勘定掛有志(二四〇)▲三泰掛有志(五〇〇)▲機械掛有志(一一〇)▲雑貨掛有志(二六〇)▲穀物掛有志(一〇四)▲林秀雄(三〇)

新版 江戸八景
(鎮上映)　行友李風氏原作　鈴木彦次郎氏他二氏

一五二

江戸相撲と辰巳藝妓 五

鈴木彦次郎

男十起つ秋 (一)

きつと掃いた薄墨を次第に濃くする野末に、一番星がキラ〳〵と輝き初めた。

段々の山田を越して見下せる村には、灯がチカ〳〵と瞬いてゐる。その上の枯草の間にどつかと坐ッて動かぬ影は、そも、何もの?

ほッと、吐く溜息正しく人に違ない。それも餘人ならず、混亂の相撲場からふッと姿を消した權之助だッた。石の樣に動かぬ權之助の瞳は、灯の瞬く村の木立の繁りにひたと吸ひよせられてゐる。そして、またしても溜息だ――。

(おつかあ……、勘辨して……

……)

呟く聲は、先刻土俵の上で現はした颯爽たる姿に似もやらぬ弱々しい響きだ。名譽の勝力士――、たとへ五人目に敗れても、相手は天下の幕内力士、何んで恥らうことがあらう。而も、勝負は時の運だ。昇る朝日の勢を向ふに廻してのあの勝負は、立派な取口初陣の權之助としては、天を仰いで勝つてもいゝ。だのに――

(おつかあ……、俺は今日まで只の一度もおつかあの云ひ付けにそむいた事はなかつた。それなのに、勘辨しておくれ……今日といふ今日は、どうにもならねえ事になつてしまつた。おつかあ……俺はやつぱり、おとつあんの子だつた……。勘辨して呉んな……その代り……その代り……、御恩は千倍万倍にして……。)

涙に霞む呟き聲はそれなり消えてしまふと、大きな掌はしきりに眼の邊りを頻に撫で拭ふのであつた。

權之助は唯一人子一人――。父親はしがない小作だつたが、相撲に掛けては近在での取手。山田川權兵衛の名は遠く銚子、千葉の邊までも聞えてゐた。

その父親が相撲の意恨で暗討ちされたのが基で死んだ。親の心配は其處から始まつたのだ――。朝に夕に、無用の力技、喧嘩口論を戒める母の言葉は繰返された。權之助は只おとなしくそれを頷いて聞いてゐた。

權之助は柔和な親孝行息子と評判されて育つたが、同時に生れ付いた巨軀腕力は隱しようもない。常州一だの卅人力だのと、噂は噂を生んで擴まつて行つたのである。母を思ふ權之助――、その言葉にそむいた今日の相撲沙汰に、家へ歸る術もなく心を痛めてゐるのか――。

「やいこら、權……。なあんだ! こんなとこに何して居たんだ? 皆なして心配さぶつてるに、何して居くさる……。ウハハッハハ」

白髪頭にねぢ鉢卷、しわくちや顔の大肌抜ぎは月に浮れる古狸と見まがふ、作兵衛爺さんだ。

「へえまあ、どんなに探した事だか……ウハッハッハ。」

作兵衛爺十二分に御神酒が廻つてゐる樣子だ。

「さあ歸えれ……ぶつくらすんなよう……。上白米が廿俵杉なりに積上てよ、名主樣の留けてよこした煮メをおつぴろげ、酒樽が角樽はごろ〳〵〳〵〳〵だ……われがとこの庭はまあ、水戸の大祭の御神酒所たあなまるでさ……。われがお袋のぶつたまげた面だけでも何んぼかおかしいこんだが……。若衆は大勝しては鶴年爺りさ打つてるぞう……。やい、ぶつくらすんなあ、權!」

◇―◇―

轉居

▲新宮文佐衞門氏羽衣町から高砂町二丁目十番地へ
▲松崎梅次郎氏八島通りから祝町三丁目十七番地へ
▲横川元龍氏常盤町から和泉町白山寮百十二號へ
▲鈴木孫次氏和泉町から清明街二百十八號へ
▲鈴木正義氏和泉町から山吹町二丁目四番地山吹寮へ
▲角田利門氏祝町から明德路六百六號へ
▲榎本均氏　同上
▲久保正憲氏祝町から山吹町二丁目四番地ノ三へ
▲土井正義氏千島町から同上へ
▲玉川適氏入船町から明德街六百六號電々會社獨身社宅へ
▲岩井吉行氏中央通りから德島縣へ

居住消息

▲山本榮信氏(靜岡縣)日出町二丁目十六番地植松方へ
▲杉本卯一氏(山口縣)富士町二丁目十一番地新陞公司二十七號へ
▲稻山良太郎氏(山梨縣)奉天から和泉町白山寮百二十一號へ
▲濱崎道男氏(鹿兒島縣)大連から同上へ
▲大迫春實氏(鹿兒島縣)奉天から同上二百二十七號へ
▲森永嘉藏氏(鹿兒島縣)公主嶺から室町四丁目二番地滿鐵從事員寄宿舍へ
▲石川明氏(山形縣)梅ケ枝町三丁目十番地ノ三へ
▲佐々木政八氏(青森縣)白城子から山吹町三丁目四番地山吹寮十二號へ
▲百々増次郎氏(滋賀縣)ハルビンから山吹町二丁目四番地へ
▲磯田義雄氏(靜岡縣)同上へ
▲蓮尾篤氏(福島縣)同上へ

十二月十九日　水曜　甲子　大安　建　箕宿　舊十一月十三日

●一白の人　惱みに塞がれて兎角思ふ樣に成りがたき日　申と辛と酉が吉
●二黑の人　山氣を起す時は却て失敗を招く堅實を守れ　甲と壬と癸が吉
●三碧の人　公平の態度を以て英氣を奮ひ開拓に努めよ　乙と申と辛が吉
●四綠の人　福運を獲得すべき日他の引立ありて功多し　乙と丙と丁が吉
●五黃の人　人の煽動に乘り易き日溫和に身を保つべし　甲と申と癸が吉
●六白の人　慈悲善根は人の爲ならず福は一家に及ばん　乙と丙と丁が吉
●七赤の人　家道次第に延び行く日迷心は失敗に導かん　甲と申と壬が吉
●八白の人　浮沈曲折の多き日油斷大敵用心堅固が第一　丙と丁と申が吉
●九紫の人　我慾に馳せて名を汚さゞるやう注意すべし　巳と丁と亥が吉

大連の諸會社 何れも營業狀態良好

東亞興業が第一位

【大連國通】關東廳民政署は滿鐵を除く大連の重要會社五十三社の今年度營業狀態につき調査中であつたが、四十九社迄は何れも好成績を收め、今年度上半期に於る利益金總額五百七十八萬五千圓以上に達した、これは拂込資本金約九千萬圓に對し、年額一割二分七厘の利益に當り、昨年同期に比し四分の増加である、この好成績は主として銀價の昂騰による滿人側の購買力増加及各建設事業の進展に伴ふ日本品の注文激増等によるものである、同期間に缺損を招いたものは僅か四社で、倉庫土地及農事會社であり損失總額は約四萬二千圓である、儲け組の筆頭は東亞興業會社で利益額は二割一分七厘に當つて居り、福昌華工公司及遼東ホテルなどがその次である

……得たので十七日午後一時から大阪倶樂部に發會式を擧行し席上會長に安部房次郎氏を、副會長に村田今村兩氏を、名譽會員に高柳、岡田、中村の三氏を、名譽會計に庄司氏を選擧した、尚副會長には英國總領事ホワイト氏を推薦する事になつて居り、來年一月總會を開催する豫定である

十一月中の 新京卸賣物價指數

十一月中新京卸賣物價指數は左の通り

△國幣建　九、十兩月引續き稍々軟化の後を承け前月比〇、一、前年同月比〇、四の夫々徐騰を示した、全品目五十品中騰貴二十三品、低落十九品、保合八品、之を類別に見れば穀物、食料及び嗜好品、建築材料三類の上騰に對し紡績品、金物燃料並に雜品四類の低下である、本月指數九八、九

△金圓建　六月以降の騰勢は前月一五四、七と本指數創始以來の最高位を現出せるも本月に及んで前月比三、六の低下を見た、尤も前年同月比に於て尚八、〇の高位にある全品目五十品中騰貴十四品、低落二十九品保合七品、之を類別に見れば建築材料を除き一齊下向を辿つた

本月類別指數並に總平均次の如し

	國幣建	金圓建
穀物	一〇一、八	一四一、七
食料及嗜好品	一〇五、三	一六〇、一
紡織品	九九、四	一五一、七
金物	九六、九	一四九、五
建築材料	八六、九	一三〇、二
燃料	八〇、七	一二二、一
雜品	一〇一、三	一五五、六
總平均	九八、九	一五一、一

阪神に 日英協會生る

【大阪國通】在阪神日英人の交驩親睦のために關西日英協會が生れた、在阪實業家の間には七、八年前から日英協會の設立について計畫を進めてゐたが、本年英國產業同盟から特派されたバーンビー卿一行の來阪を期として急速に具體化し、今村（住友）庄司（東洋紡）村田（商船）高柳（商工會議所）の諸氏が世話人となつて勸誘につとめた結果阪神間に七十名の賛成者を

國鐵沿線 事情紹介

フヰルムを通じ

【奉天國通】鐵路總局では最初の試みとしてフヰルムを通じて國鐵沿線事情を內地及び諸外國に紹介すべく曩に撮影班を組織したが、右撮影班は十一月二十二日奉天出發、三班に分れ、第一班は奉吉、京圖、北鮮、第二班は拉賓、濱北、齊北、第三班は奉山、平齊兆索の各沿線を巡廻約二百餘日間に亘る撮影の旅を終り十七日歸奉した、右フヰルムは全部約六卷に及ぶが、近く編輯の上適當な時期に於て一般に公開される筈である、尚歐米各國に對しては更に之をサウンド版として頒付する計畫である

新機構の 實施に伴ひ

電々電業の監督 權一元化成る

【大連國通】新機構の實施に依り郵便爲替事務及び電信電話事業、電氣事業の監督は著しく簡易化されることとなるが、その內容は遞信局より遞信事務官、遞信書記五名內外が新京に轉出、遞信課勤務となり、遞信局の業務監督事業認可等の衝に當り別に遞信局は明年電々會社の新京移轉後同社及び電業公司を直接監督するため監督機關を新京に常置する筈で、即ち電々、電業兩社は依然遞信局が直接監督し遞信局の郵便、爲替、保險業務監督並に電々、電業の第二次監督は新機構の遞信課にあるもので多年要望の監督權の一元化が玆に實現を見たものである

北黑線の開通式 黑河街を擧げて祝賀

＝內田チ、ハル領事歸來談＝

【チチハル國通】北滿と小興安嶺を越えソ滿國境黑河を結ぶ北黑線開通式に參列、十七日午後一時飛行機にてチチハルに歸來した內田領事は情況につき語る

十三日朝北安鎭でハルビンより午前八時廿分基點とも云ふべき北安鎭を出發、車內には丁交通部大臣、八田滿鐵副總裁、山西理事、佐藤建設局長、大村交通監督部長、施履本外交部北滿特派員、伊藤滿〇團參謀長、松村〇團長等今日の開通日を祝福するにこやかな光景に見えた、一行十五名を乘せた處女列車は北滿の曠野を驀進、車內各所から爆笑また爆笑、午後四時中間驛たる孫吳に到着し、車中に一夜の夢を結び明くれば十四日小興安嶺を背に午前八時盛大なる連結式を擧行、直ちに孫吳驛出發、一路黑河に向つたが途中小興安嶺に差掛るや一帶の森林地帶が目前に展開、實に風景絕佳、處々に高臺があるため線路は曲りくねり濕地が多いためか橋が多く相當難行とされる、午後二時黑河着直ちに假驛前に於て鐵道建設の犧牲者十八名の慰靈祭を行つた、十五日待望の北黑線開通式當日だ、午前七時頃より關係者續々參集、定刻午前八時約二百名參列の下に、勞頭建設事務所に對し關東軍より賞狀授與、續いて滿鐵より請負業者の表彰式あり終つて開通式擧行關東軍司令官全權大使祝辭丁交通部大臣、謝外交部大臣外十數名の祝辭ありて

哈市の人口 五十萬

【ハルビン國通】ハルビン公署では十二月の一日を期し市民の大々的戶口調査を行つたが大ハルビンの總人口は五十萬と算されるに至つた、之でハルビンは滿洲國唯一の國際的大都市となつた譯である

奉天の 國幣相場大暴落

【奉天國通】奉天取引所に於ける十七日の國幣對金票相場は後場に至り城內滿商が年末決算に際して金票の必要に迫られ大量の買物あり更に加へて支那の平價切下げ說傳はり人氣益々惡化し後場より九十一圓十錢、引値九十五圓といふ近來にない大暴落を演じた

魚菜株式會社 近く開業

【圖們國通】圖們居留日本人民會の魚菜市場を代行する魚菜株式會社の競り市場小賣市場は今回竣工した、本格的開業期日は未だ發表せぬが、小賣地區の賣店八十戶に對して借家申込百名を越へ、會社側で目下人選中、同種の商品を扱ふ賣店を成るべく設けさせぬことにし一つのチェーンストアを現出する方針、開店の上は從來圖們舊市街の市場（露店式）なるものを全部撤廢せしめ、その代り今回の新市場前の空地を整理し此處に從來の市場商人を全部收容して營業の便を與へることゝなつた

……午後三時無事終了、黑河市民はこの日を記念すべく晝は旗行列、夜は提灯行列を行ひ歡喜の坩ッボと化した

海外經濟

（倫敦銀塊、同先物、紐育銀塊、孟買銀塊、米英爲替、米日爲替、米支爲替、スチール株、アナゴンダ株 ほか）

▲米棉　現物、十二月限、一月限、三月限、五月限、七月限、十月限

▲上海標金　昨止、高値、安値、本日寄

▲上海日向　第一回、第二回、第三回

▲上海倫敦向　第一回 一志四片 二分一、第二回 一志四片

▲上海紐育向　第一回、第二回

▲大連金鈔票　現物、十二月廿七日限、寄付、引、高、安、出來高

▲大連上海向　現物

▲大連嬉台向

▲阪神日米　賣値、買値

各地市場

▲大阪株式　大株新、大紡新、鐘紡新

▲同　延期

▲大連株式　大鐘新、東拓新、日產新、五品、先限

▲奉天株式　大日新、日產新、鐘紡新、東新

▲大阪三品　十二月限、一月限、二月限、三月限、四月限、五月限、六月限

▲仁川期米　當限、中限、先限

▲大連特產　◎大豆　袋込、十二月限、一月限、二月限、三月限、四月限　◎豆粕　現物、三月限、四月限　◎豆油　現物、二月限、三月限、四月限、五月限　◎高粱　現物、十二月限、一月限、二月限、三月限、四月限

新京市況

◎特產　大豆、高粱、小豆、包米　現物 二車、三車、三車、四車

◎特產先物　四月限大豆、出來高、四月限高粱、出來高

◎錢鈔　票對國幣 一月十三日限、出來高、金票對鈔票 十二月廿八日限、出來高、金票對鈔票 一月十三日限、出來高 二十五萬三千圓

◎錢鈔　金票對國幣、金票對鈔票、鈔票對國幣、現大洋對鈔票、金票、鈔票、國幣

手形交換（十七日）

大正十二年十月四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊　朝夕刊共十二頁

本紙定價　一部五錢　一ケ月一圓
廣告料　普通一行一圓三十錢　特別同二圓五十錢
發行所　新京日日新聞社　新京永樂町四ノ一　電話三二五・三三〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越內之介

我回訓案の內容 根本的方針は不變
休會前出來る限り再開を約し 會商繼續を希望

【ロンドン十七日發國通】豫備會商に關する日本代表部よりの請訓に關し外務、海軍兩當局では愼重協議中のところ十八日根本方針を決定したので字句の整備を待つて今日中又は明朝回訓をすることゝなつた、その內容は單に手續上の範圍を越へず、その骨子大要は左の如くである

軍縮に關する日本の根本方針は一定不變であくまで既定方針で進むこと、豫備交涉は依然繼續すべき方針なるも英米兩國に於て休會の通知をなした場合は之に應ずるの用意あり、但し休會は出來る限り再開期日を確定宣約の上行ふこと

松平山本兩氏 英皇帝に拜謁

【ロンドン國通】イギリス皇帝ジョージ五世陛下には松平山本兩代表に對し十八日午後三時バッキンガム宮殿で拜謁を賜はる旨御沙汰があつた、アメリカ代表デヴィス、スタンドレー兩氏も十九日か廿日に同宮殿で拜謁を仰付られる筈である

我が政府は 廿日休會に異議なし

【東京國通】豫備會商一旦休會に就ては帝國政府は既報の如く必ずしもこれを歡迎するものではないとは言へ休會が豫備會商の成果をあげる所以なるに於てはこれに異議を唱へるものでないとの立場を取つて居るので、二十日を以て一旦休會することに對しては無論異議なく松平大使より改めて請訓あるに於てはその旨回訓するものと見られる

部長

米代表から 日英交涉の性質を質問

【ロンドン十七日發國通】英國下院〃の英米代表の會見に於て確聞するにデヴィス米代表は日英交涉の性質を質問しサイモン外相は

一、日英交涉は休會後も續行可能性あり
一、但し右は日英だけの協定を目指さず結局日英米協定の基礎たるもので最終的には佛伊を加へて五國協定に擴大する準備を開始してゐるほか他意無し

と答辯したので、デヴィス代表は

右の意味なら本代表部は續行に反對せぬ、イギリス側が華府條約の基礎原則を確保しつゝ交涉してゐると余は信じ、此前提で日英交涉に反對せぬ

と念を押した由である

三國代表會議で 公式に休會を宣言

【ロンドン十七日發國通】休會共同宣言案に對してはデヴィス代表が同意を表明したので東京から之に同意の回訓あり次第本極りとなる見込みである、其の結果に基き十九日日英米三國代表が會談開始後はじめての三國圓卓會議を開き右宣言趣旨に基き公式に休會宣言を爲し揉みに揉んだ海軍豫備會談はこゝに一旦幕となる段取りである

代表首腦部のみ參列

【ロンドン十八日發國通】三國代表の圓卓會議が十九日に開かれることは既報の如くだが、三國代表の中何れかの代表が廿二日の會談で再開を提議すれば同日だけは公式會談を開くことが出來る餘地が殘つて居り、嚴密には廿日を以て休會、廿一日以後は公式會談が出來ぬことゝなる譯である、出席者は〃局を調する重要會談に相應しく何れも代表部の首腦だけで、參會者は次の通りである

日本側　松平大使　山本代表
米國側　デヴィス代表　スタンドレー代表
英國側　マクドナルド首相　サイモン外相　モンセル海相　チャットフイールド軍令

國務院會議 決定事項

十七日の第四十五次國務院會議における決定事項は左の如くである

一、敎員講習所官制中改正の件
一、文敎部は淸朝實錄を印刷し又外交部はエドワード顧問を更に二ケ年間ロンドンに駐在せしめ新興滿洲國を紹介するため豫算外國庫の負擔となるべき契約を爲すの件

日英兩國間の新協定に反對
デヴィス代表から要望

【ロンドン十七日發國通】十七日のサイモン、デヴィス兩氏の會見でデヴィス代表は休會宣言案に異議ない旨を言明引續き日本代表部の同意を求めることに意見一致したが休會案同意後デヴィス代表は休會後日英兩國代表間に二國折衝が繼續する方針なるや否やにつき質問し、サイモン外相は米代表部の出發後も日本代表との間に非公式商議を繼續する意向なることを言明したところデヴィス代表は日英兩國政府だけで新協定の達成を圖ることのないやう要望し次の如く述べた

英國政府が米代表のロンドン引揚げ後引續き日本代表との間に討議を續行されることに對しては一向異論はないが日英兩國間の討議は日英兩國間だけの新協定達成を目的としてゐないやう特に保證を願ひたい

右デヴィス代表の懸念に對しサイモン外相は

豫備會談は今後日英兩國代表間で折衝を續けるのは決して日英兩國だけのみの協定を目的とするものでない專ら日英米三國若くは佛伊兩國を加へた五ケ國會議の海軍制限新協定を達成する爲地均しを試るに過ぎない

旨を述べた

滿洲攪亂の 密約說傳はる

【奉天國通】確實なる筋への情報に依れば、東北軍事委員會榮奏氏は最近秘密裡に張家口に密使を發し同地にある宋哲元と熱河省主席たりし湯玉麟と面會せしめ、左の如き熱河省回復密約を締結したと傳へらる

一、北平に駐屯の一箇旅を苦力に變裝せしめ滿洲國々務院國道局の道路修繕に從事し、將來滿洲國の治安を攪亂させること
一、湯玉麟は舊軍閥と連絡を取る爲め湯自ら熱河に入ること
一、宋哲元、榮奏は湯を首領に仰ぎ蒙古各王侯と連繫して討熱準備をなすこと
一、第四軍團長馮上海を將來その敵總指揮官とすること

日蘭會商は 樂觀を許さぬ
廣田外相から閣僚に說明

【東京國通】十八日の閣議で町田商相は、日蘭會商に關し廣田外相に詳細なる說明を求めたが、廣田外相は大要左の如き說明を爲した

日蘭會商の最大難關は船舶問題で當業者間の折衝を望んでゐるが樂觀を許さぬ狀態にあり、砂糖買付問題も困難の問題である、會商の打切りは未だ考へてゐないが悲觀的情勢にあることは歪めない事實で長岡代表は或は引揚げるやうなことがあるかも知れないがこれは決して會商の打切りを意味するものではなく長岡代表が引揚げることになれば越田總領事が代表として一切の交涉に當り何とか局面の打開の方法を見出すやう努力させる心算で日本帝國の方針としては會商の圓滿成立を飽迄希望してゐる

對支送金超過が 實に二億四千万圓
銀の流出防止策が緊急

財政部に於いては大同二年十一月銀行法發布以來金融機關の中樞たる銀行の健全なる發達を助成するため新銀行法により營業許可申請をなした百六十九行中整理廢合淘汰の結果約半數に營業許可を與へた一方調査員を派して主なる銀行の營業狀態を實地に調査中であるがこれにより資本金額、貸出額、預金額、爲替取組高等貴重なる統計材料も整ふものと本年末の調査終了の結果が期待せられて居るが、現在迄に調査を終つた普通銀行外國取扱高は三億二千百萬餘で中華民國宛爲替が大部分を占めて居り

その內譯は送金取組高二億四千三百萬圓、送金支拂高七千八百萬圓差引一億六千五百萬圓の中國向送金超過で之に中銀及び關東州、附屬地の銀行其他を合すれば約二億四千萬圓と云ふ巨額な送金が支那に向けられて居る事が判明した

この事實は貿易收支が常に滿洲國が受取勘定であるのに對比して反對の現象を見せてゐるが、之は官公吏商人等の送金のみならず、資本逃避及密輸の結果と見られ、此處にも銀流出防止の對策が考慮せられるに至つた、尤もこの現象は目下財政部に於て進行中の國際收支調査完了と同時にその眞相も見究はめられるであらう

滿支〇問題 圓滿に解決
內容は近く正式に發表 藤原郵務司長語る

【奉天國通】滿支兩國間の重要懸案たる〇〇問題解決のため去る九月以來北平にあつて支那側と折衝を重ねてゐた藤原交通部郵務司長は今回同問題が双方の讓步理解により圓滿に解決を見るに至つたので十八日午前六時奉山線で來奉、同一時五十二分發アジアで新京へ向つたが、同氏は出發に先立ち左の如く語つた

多年の懸案だつた〇〇問題も双方の歩み寄りに依つて愈々此の程圓滿解決するに至り遲くも一月中旬頃には實施される運ひとなつた、案の內容に就ては未だ申上げられないが近く正式に發表する時期が來ると思ふ、兎に角迂餘曲折を重ねた問題が圓滿に解決したといふ事は滿支親善及び双方の經濟的發展の上から誠に慶賀に堪へない次第で之が楔機となり他の滿支間の諸懸案も漸次解決することゝ思ふ

藤原郵務司長歸任

交通部郵務司長藤原保明氏は多數の出迎を受け十八日午後五時半北平から歸任した

國幣の下落は― 一時的の現象
原因は上海相場の影響 時日經過で安定

百十圓見當に落着きを見せてゐる國幣は十七日百六圓と急落して奉天の如きは混亂の極に達して遂に立會中止とまでなつたが十八日には見直して百八圓となつた、新京各方面では此の下落も一時的現象と見、今の處特別の對策實施はないものと見られてゐる、下落の原因につき各方面の意見を綜合するに最近の落着きがない上海相場の影響は銀そのものを安くし鈔票も大體に落調を辿り國幣安に影響したと見て居り又最近對滿事務局設置に伴ひ滿洲國幣制の改革につき金本位乃至圓爲替本位等各種の議論が新聞を賑はして居り、それによる人心動搖の結果一部の賣叩きに出た爲で時日の經過と共に安定するものと見てゐる

特產界、製粉界 共に活況

【ハルビン國通】北滿特產物の出廻りも愈々本格的となり拉賓線の出廻り一日平均百五十車、北鐵南部線も二百車に達し、漸次活氣を呈して來たなほハルビンの製粉界もめつきり盛況を示し今日まで南下した麥粉は約八萬袋に上り、年內の南下見込みは十萬袋を優に突破するだらうと豫想されてゐる、十一月のストック四十三萬袋も殆ど捌け現今七工場に於ける一日の生產高は約五千袋とされ非常な活氣を呈してゐる

臨時利得稅
十年度年收見込三千萬圓餘

【東京國通】十年度より新設される臨時利得稅の年收見込額は十八日の閣議で高橋藏相より左の如く報告があつた

十年度　三千三十九萬五千七百九十九圓
十一年度　四千百九十九萬九千九百八十萬圓

菱刈將軍 吉林巡視
各機關代表を招待送別會

【吉林國通】離滿を前に最後の視察旅行に上つた菱刈大將は幕僚、秘書等を隨へて十八日午後一時吉林驛到着、例の明朗そのものゝやうな調子で驛頭には佐藤司令官、吉興七將、李省長等日滿要人の出迎へに答へ更に歩を進めて驛前廣場より街路へ堵列する日滿兩國軍隊及び各團體、小學校兒童等を檢閱したが終始好々爺然たる笑顏を振りまいて名殘りを惜むかに見えた、尙嘗て將軍が仙臺の聯隊長時代令息、令孃の家庭敎師たりし吉林小學校の太宰訓導と約二十年振りでの劇的會見あり、人情將軍の片鱗をのぞかせ周圍の人々をして感激せしめた、夜は吉林クラブに各機關代表を招待、送別の盛宴を張つたなほ將軍の一行は明十九日午前五時半吉林發〇〇へ向ふ筈である

第一回警務 廳長會議
廿、廿一兩日開催

地方制度改革後第一回全國警務廳長會議は二十、二十一兩日午前十時から朝日通自治會館に於て開かれる事となり、夫々關係筋に通達されたが警務關係事項は全國治安上その相互連絡最も緊要であり殊に治安工作の一段落と共に國內治安は漸次各省警務廳の手に移されるので新地方制度實施により生じた各廳相互間の連絡事項其他警務各般に亘り打合せを行ひ大いに地方警務の能率的刷新を圖る事になつた

恩賞局分科規程

恩賞局分科規程は十八日左の如く發表された

第一條　恩賞局に左の三科を置く
總務科
勳章科
記章科

第二條　總務科は左の二項を掌る
一、機密に關する事項
二、官印の管守に關する事項
三、文書の收受發送及保管に關する事項
四、成案文書の審査及進達に關する事項
五、人事、會計及庶務に關する事項
六、勳章、勳記、記章及其の證狀の出納保管に關する事項
七、圖書、刊行物及諸統計に關する事項
八、恩賞制度の調査研究に關する事項
九、他科の所管に屬せざる事項

第三條　勳章科は左の事項を掌る
一、勳位及勳章の敍賜に關する事項
二、勳位の褫奪及勳章の佩用停止に關する事項
三、勳章及勳記の沒收に關する事項
四、勳章の還納に關する事項
五、外國勳章の受領及佩用許可に關する事項
六、外國勳章の佩用禁止、停止及外國勳章佩用許可
七、恩賞會議に關する事項
八、褒賞其他の榮典に關する事項

第四條　記章科は左の事項を掌る
一、記章の授與及贈與に關する事項
二、記章の褫奪、佩用停止に關する事項
三、外國記章の佩用許可に關する事項
四、外國記章の佩用禁止及停止に關する事項

附則

本規程は康德元年十二月一日より之を施行す

天氣

西の風晴
氣溫　最高零下五度五　最低零下十五度二
日出　前七時八分
日入　後四時三分
月出　後二時二十四分
月入　前五時四十分

人事往來

▲來栖健助氏（運輸業）十七日午後九時安東より國都ホテル投宿
▲寺尾喜舟氏（會社員）同
▲早借喜太郎氏（官吏）吉林より同
▲大津峻氏（會社員）安東より同
▲淸水行之助氏（同）十八日午前十一時三十分大連より同
▲宮本重房氏（貿易商）同
▲宮下靜一郎氏（林業）同
▲仲西實雄氏（滿洲國官吏）同
▲吉村壽氏（同）同日午前七時三十分同上

新機構の實施と其の特質

もみにもんだ滿洲機構問題も南大將の關東軍司令官新任と共に漸く實施の運ひに至り勅選組の錚々たる長岡隆一郎氏を關東局總長に、大藏省銀行局長たる川越丈雄氏を對滿事務局次長に任命する事によつて一應の整備を終つた。

斯くて來るものは、愈々本格的、常時的滿洲國策の樹立である。顧みるに事變以來の三年は、所謂建國時代であつて、政治的、經濟的、凡ゆる意味に於て準備時代に過ぎなかつた。之を我々は三段階に區分し得る。即ち本庄司令官時代を第一期とし此の時代に□國の大業完成したのである第二期は武藤、菱刈兩司令官時代をなし、政治的經濟的一應の整備時代であつた、然して南大將を迎へ、新機構の實施と共に愈々第三期的諸工作の實質的整備時代に入つたわけだ。

從つて吾人は、南大將の新司令官任命と新機構の實施とに斯樣な意味に於ける特異性を見出すのである。

×　×

新機構の實施は究極に於て政治的强權の確立と、日滿經濟のより緊密なる提携とを確保するにある。蓋し新機構の關東局總長に內務行政に精通せる長岡氏を、對滿事務局次長に、財務家たる川越氏を据えたる所以のものも、前者は長岡氏、後者は川越氏をして擔當せしめんとする南大將の深慮に基くものと吾人は解して居る。

此の度の新機構の人事に對する世評は實に素晴らしい、世評は即ち人氣であつてそれは輿論である。而して輿論は兩氏をして、政治的に、經濟的に思ふ存分の手腕を發揮せしめ因て以て稍々もすれば、何ものかの障害の橫はらんとする日滿經濟を打開せんとするにある。

思ふに從來の滿洲經濟工作は主として關東軍特務部の主宰する所であつた。形式的には、實業部あり　財政部かあつて指導監督を行つて居たのであるが　實際は特務部の諒解なしには何事をもなし得ざる現狀であつた。それか善いか惡いかを云々するのじやない。けれども少くとも經濟工作には大なる經驗と經濟的手腕とを要することを知らねばならない。最近滿洲國諸制度の完備と共に特務部を廢止し之に代る日滿經濟會議を設け日滿重要經濟國策を審議すべしとの論擡頭せる所以又玆に存するのである。

×　×

傳へられる所によれば南新司令官は赴任に先立ち閣議に列席して此の間の消息を詳細に述べ、次の如き抱負を披瀝したとの事である。

一、日滿兩國は國防に付ては十分の諒解はあるが、經濟關係に付ては未だ明確なる成案を得て居ない。よつて今後は特に經濟政策の樹立に努力し日滿經濟會議其の他の方法によつて經濟方面に格別の考慮を拂ふ決心である。

二、國防の擴大强化は現時の時局に照し必要であるが、その國防力を利用し好戰的乃至は挑戰的態度を避け滿洲國を平時化する事が急務である。

滿洲經濟國策の歷史は、著しく反資本主義的色彩を以て出發したのであつた。財閥の資本輸入を禁じ、重要產業を國家の統制下に置く事が建設途上に活躍した人々のイデオロギーだつた。去り乍ら滿洲國の諸工作は資本の力なしには何事をもなし得ざる事は余りにも明なる事實であつた。彼の滿鐵改組の失敗の如き正にそれであつた。其處で勢ひ、諸資本を日本資本主義の軍門に降り、資本を日本資本の輸入に俟たねばならなかつた。最近の鮮銀券の膨脹は正に此の事實を裏書するものである。

×　×

南新司令官は此の間の消息を知らない筈はない。其處で稍々もすれば、時代に逆行した諸政策、稍々もすれば孤立經濟に陷らんとする滿洲經濟打開の途を、より緊密なる日滿提携に俟たねばならぬと考へたのであつた。

我々は其處に新機構の意義を見出すと共に長岡氏、川越氏等新機構に活躍する人々に希望する所以のものも亦其處にある事を附言して置く。

新改正關稅率　不安な空氣が濃厚
渡日中の石崎會頭歸來談

先月末東京において開催の日本商工會議所聯合會總會（二十七日）並に第二回日滿實業協會總會（二十九、三十兩日）に出席のため渡日中の新京商工會議所會頭石崎廣治郎氏は十六日夜歸京して語る

日本商工會議所聯合會總會には滿洲商工會議所聯合會の名をもつて日滿兩國經濟委員會を設立しその委員に在滿有力法人商工業者を加へられるやう兩國政府に要望の件を提出したところ委員に在滿有力法人商工業者になつてゐたので日滿經濟の特異性に鑑み之を在滿と限らず日本在住の有力法人商工業者をも加へられたいとの聲がありこれは尤もな意見で我々としては勿論日本有力業者は入るものとして在滿としてゐたので別に異議なく日滿有力法人商工業者と訂正滿場一致で可決直ちに日本商工會議所聯合會の決議として關係要路に陳情した、ところがはからずも二、三日前に日滿兩國經濟委員會が成立されるやうになつたことを新聞でみて既に政府において考慮されてゐたことゝは思ふが大いに意を强ふし喜んだ次第である、日滿實業協會の總會は明年は東京で開催するが第四回即ち昭和十一年は新京で開催することに各方面の諒解を得たのでその際は日本の有力商工業者が多數新京に來られることゝ思つてゐる、關稅問題についての空氣はまだあまり表面化してゐなかつたがあの程度の關稅改正ではたして密輸が防げるであらうかといふ不安な空氣が多分にあつたからいづれなんとかの形で表面化すものと思はれる

熊野附近一帶に金鑛脈

【大阪國通】大阪鑛山監督局では熊野國立公園地一帶に有望な金鑛脈のあることを確認し佐分利技師が實地調査に當つて居たが、同氏は十七日歸阪、その報告により熊野國立公園地帶一億坪に亙る金銀銅の一大鑛脈の存在が明かとなり瀞八丁にも金鑛石の端が覗いて居たと言ふ素晴しい事實が判明した、殊に熊野川、北山川、和歌山縣上川三重縣入鹿村の各地帶は既に大阪鑛山監督局の踏査濟みで十萬分の二の金脈が惢つて居る、更に三十三間堂で有名な楊枝の里附近は十萬分の五と言ふ豪勢さで早くも同地方は採金熱に浮かされ黃金景氣に時ならぬ活況を呈して居る

營口北鐵商事部　閉鎖

【營口國通】北鐵交涉進捗に伴ひ駐營口北鐵商事部は閉鎖準備中であつたが、一應完了したので主任ホフロフキン氏は十七日午後五時營口發列車で家族同伴取敢へずハルビンに引揚げたこれで屢々傳へられてゐた營口商事部閉鎖も近く正式發表される事となつた

蒙古を見よ（上）
マヘンドラ、プラタプ

冒險とローマンスと歷史的興味に滿てる國よ

嘗てあるハンガリヤの旅行者かハンガリヤ民族の祖先を求めて蒙古に入つたのであるが私がナイル氏とヤング、ラマを伴つて蒙古を訪れたのはさうした漠然としたものではなかつた、其のハンガリヤ人はその使命の性質からして非常に疑惑に滿ちた氣持を抱かねばならなかつた、彼は中央亞細亞にハンガリヤ民族の祖先の地を見出さうとした、私は嘗ては我々の祖先である印度民族に貢獻した蒙古民族を訪問しやうとしたのである

私には蒙古は始めての訪問ではない、一九二三年私は南から北へ蒙古を橫斷した、その時は北京から張家口を經てウルガ迄行つた、又一九二五年には印度國民としての使命を帶びて西藏を訪れる時內蒙を通りカルガン、綏遠、パタオニングシヤを經て甘肅省のランチヤウに旅した

一九三一年から三三年迄北京に在住してゐた蒙古のラマ寺と交涉を持ち、その頃ラマ僧であるヤング、ラマと相知り生涯の伴侶となることになつた、こうしたことが私に多くの蒙古の知己を持つことになつた

□

今度私は滿洲國から蒙古に行つたのであるが蒙古の自然は私に親しいものであり、人々は久しい友の樣に思つた、今度の蒙古への道は始めてであつた、私達は西蘇尼特を目指して多倫諾爾から西へ西へと旅を續けた、この方面は名目だけでなく事實上全くの蒙古であり、支那の地圖には支那領の察哈爾に含まれてゐる、然しこの地方には支那の役人は殆んど見かけられない、この地方の住民の遊牧の民の平和と治安のために王公の率ひる蒙古兵がゐるのみである

私達は多倫諾爾から馬で出發した、毎日朝食を終ると二十哩乃至廿五哩を馬で旅した急がない旅であつたからそれだけの旅程を行くには六、七時間を要し、十日を費してやつと目的地である德王の都西蘇尼特王府に着いた、私達が其處に着く三日前德王は百靈廟に出發したと聞いて非常に失望した、而してその後德王は蔣介石と會ふため綏遠の方に更に南するといふ事を聞いた然し私達は王府の大臣に當る人と會見し、王の次に位する總理大臣に當る人も訪れてくれて、色々話をし、意見を交換した

□

私は蒙古人に世界の一般的情勢を說明した、富と權力の突風の中に全世界の秩序は失はれ、ある特定の國民と個人が他より一層富と權力を獲得してゐるのである、現在五大國家がその上位にある、即ち日本、米國、英國、佛蘭西、ソヴエートがこれである、支那と印度の國民は人口の點に於て世界最大の國民なるに拘らず不幸にも外國の勢力下にある、印度は直接英國に支配され、一方支那は間接に諸國に支配されてゐる、印度は日本と同樣に蒙古を精神的に指導した佛教を生んでゐる、一方支那文明は東洋文化の基礎をなしてゐる、然し現狀の儘では蒙古は西藏、支那と同樣に非常に危險に面してゐるのである、自然の惠みを受けてゐる人は多くその事實を認識してゐない、日本の一部の人と支那の極めて僅かの人が亞細亞の現狀を正視し目覺めてゐるに過ぎない、私は佛陀の足跡に倣つて我々が全世界の平和と幸福を得るためには全世界の秩序を先づ第一に保たねばならないといふ結論に到達した、この世界の統一に西藏、蒙古、支那、滿洲、朝鮮、日本は打つて一丸となり「全國」（ゴールデン、ランド）を形成する、すべての民族は平等の立場に於て各個人は正義を獲得するのである、我々はその目的を實現せんがために亞細亞義勇軍を組織せんとしてゐる、而してこの運動を具體化するために蒙古を選んだのである、歷史的背景を有する蒙古は土地を提供し、進步した日本は我々の運動を援助するものと信じてゐる

蒙古の民は目覺め、彼の偉大なる德王は我々の見解を有するに至ると私は確信してゐる

そして德王は來夏の再會を約した

□

歸途私達は蒙古兵に會つたのであるが彼等は極端に中華民國に對し反感を有し、日本の援助を得て支那と戰ふ覺悟のあることを語つた、彼等は滿洲國の皇帝に對しては非常に尊敬の念を抱いてゐたが極く少數の者は新國家の組織に疑惑の念を抱き、皇帝が當然皇帝として享有すべき權力を有してゐるかの如く解してゐた

私は世界平和の僕として別の見解を持つてゐる、私は世界正義の樹立のため世界義勇軍の一部たる亞細亞義勇軍結成の運動に鞭打つのみである、私は將來國家の元首は世界大同團結のシンボールとなり、人民は元首を宗教の偶像の如くに尊敬するに至ると考へるものである、又部落は全世界の秩序の要素としての自治團體となり、民衆は人種とか國民といふ誤れる思想に魅惑されることはないであらう

拓務省移民の展望（二）

△自給自足　然し意氣軒昂たる多くの團員は挫折者や天災を尻目にかけ移民團の第一目標を自給自足に置き昭和九年度にかけ未墾地の開墾及び農產加工部―味噌、醬油班、精米班、豆油班―煉瓦班、種畜班、鐵蹄班、木工班、石材班を組織して計畫的農業經營に精進した、その結果豫定の全部とは行かぬが相當の成績を見せ、今年度の收穫は水災で惱まされたに拘らず天約小麥四百石大麥百二十石、大豆千石、粟二百石、小豆二十石、グリーンピンズ七十石、馬鈴薯二萬三千貫、甜菜三千貫、煙草百貫、燕麥三十石、水稻（籾）五十石の收穫を見比較的好成績を擧げる事が出來た、定植二ヶ年にして漸くここに光明を認むることを得たのである、而して之等の收穫物は多營中に加工し自給自足に備へるのであるが未だ之等を賣却して居る域には達して居らず只部落外より購入する品種並に數量が減じた程度である

△現勢　最重要な記錄たる匪賊襲擊事件と退團者の問題は第二次移民團にも共通の問題であるから後段に一括して述べる事にして、先づ現勢から述べるが二ヶ年間に次の如き變化を示した（移民數）

小隊別		入團當初	一年目	二年目（現在）
第一中隊	青森	三六	三三	二四
	岩手	四一	二四	一八
	秋田	三五	三五	一〇
第二中隊	山形	三九	二四	一〇
	福島	四一	二四	一六
	宮城	三七	三二	一六
第三中隊	長野	三九	三八	二六
	新潟	三九	三八	一九
	北大營	六九	六四	四八
第四中隊	群馬	四一	三五	二二
	茨城	三七	二二	一九
	栃木	三〇	二〇	一〇
合計		四八六	三八八	二三〇

指導者は當初の市川中佐（團長）熊谷大尉、水澤大尉、沓崎芳雄氏が當つてゐたが、最近治安も略々安定し、軍事方面の指導一段落を告げたので山崎囑託を除く軍出身指導者は歸還して現在では山崎（團長）平田、佐藤二囑託が專ら農事指導の任に當つて居る

△既耕地　開墾はドシドシ進步して、當初僅かに四百五十町步であつたのが、今は千町步近く伸ひてゐる、農耕可能地は無限大に擴がつて居り、孟家崗附近だけで二萬町步、幅員稍狹二里、奥行六、七里に亙り更に附近の無主の荒地等を合すれば優に四萬町步の地積が利用し得られ最近日本移民の土地商租問題解決で益々有望になつて來た、勿論開墾には野火を放つて草を燒き、馬力で耕せば直ちに耕地となると云ふ狀況である

△移民部落　前記の中隊を更に小隊に分け之が即ち縣別出身者の部落單位ともなつて全部で十二部落、何れも縣の名稱を附して青森村とか新潟村と呼んでゐる、之等の部落建物は目下三分の一竣工したのみで完成迄にはもう一年要するが、大体一部落に四十名前後の移民とその家族が住むだけの施設を行ふ豫定で未完成の分は當分の間共同宿舍を利用する事になつてゐる、而して移民一人に割當てられた耕地は農耕地五町步、放牧地五町步、合計十町步でこれは一家族三四人と見ての農家の生活標準から算出せる必要面積である又數年毎に兩地を交替して地力の減退を防ぐ計畫も含まれてゐる同移民團現在の有家族者は百五十六名でその中若干は既に呼寄せ同居したが、家屋が完成せぬ限り全部を呼寄せる譯にゆかぬので團員は農耕の餘暇にまかせて農場の奥七里の地點から伐材し運搬、製材は勿論煉瓦も製造して第三年度までに完成を期してゐる、家屋の構造は五間に三間の家を建て六疊三間、四疊半一間に仕切り其外に附屬物一切が設けられてゐる

讀者の聲
◀中傷はとらず▶　氏名住所明記の事

圖書館の矛盾を歎くもの
革堂憂人

余輩は常に圖書館を利用し且又多大の恩惠に浴してゐるものである、近時國都の發展と共に圖書館利用者は益々增加の傾向がある、誠に喜ばしき事である、然しながらそれに反して益々邪道をたどり行くものは圖書館事務員の精神である、人格である、彼等は圖書館本來の使命を忘却したるかの如く誠にその事務ぶりよろしからざるものがある、一般閲覽者に對しては（余輩のいふ一般閲覽者とは主に中下流の人々の謂である）さりながら無用のものでも來たかの如く或は又無料で本を借すのであるから有難く思へと云つた風の顔付或は其勞を厭ふが如き擧動は閲覽者の常に不愉快を痛切に感ずる事である、此れは余輩唯一人のみ感ぜし事ではない、それは日頃登館してゐる者に聞くならば分るであらう、そして誰しもが事務員の不親切を歎くであらう圖書館の本來の使命は公衆の知識研磨の殿堂であり勉學の士の道場でありそして常に世の先導の機關たるにあると考へる而して現代社會には無くてはならぬものである、然るに何ぞや其の大いなる使命を帶ぶる館の經理に任ずる事務員諸氏は一向に其の使命を認識しては居らぬ、のみならず彼等は神聖なる圖書館を以て唯上級階級のみの娛樂場でゞもあるかの如く考へてゐる、夫れが中下流階級の者に對して殊に中下流階級のものの研學の士の多いにもかゝはらず不親切な原因であらう、其の證據には上流紳士（余り紳士でもないが）の來館に到つては誠に親切叮嚀無い事迄も有るかの如くに云つてゐるではないか殊に婦女子に對するの言動に到つては見るものをして唖然たらしめるものがある夫れに反して我々下流階級の者或は學生等が行けば有る本をも無しと云ひ或は長く待たして置いて自分は小說等を讀んでゐる等憤慨せざるを得んと云ふ狀態である、そしてふと彼等が背後の壁に揭げられてある「通へ圖書館親しめ讀書」の標語を眺むるとき、余りにも彼等の認識不足、矛盾なるを歎かざるを得ない、然し我々は借りるが故の悲しさに！弱さに！其の場を堪へ忍んでゐるのである、斯くの如き狀態では國都唯一の圖書館として誠に遺憾千萬であるまだまだ言ふべき事はいくらでもあるが然し余輩は敢へて圖書館員を痛罵するものに非ざるが故に此位にして、寧ろ館員諸氏の反省を求めてやまないものである須らく使命を顧みて反省されよ!!

偶語

公會堂の建設資金、東北地方義捐金、歲末同情資金などゝ近ごろ寄附々々がつゞく、進んで淨財の寄附はむろん結構である▼殊に吾等の公會堂建設資金の如き義捐金や同情資金とはその趣旨は全く違ふが、これが受益者たる市民に取つては當然の負擔ともいふべきものだ▼當局ではその標準額を公費一期分といふことにしてゐるが、これも總資金額からいつて無理があらうとは思はれない、たゞ寄附金と名のつく以上强制的であつては可けないといふことだ▼この際市民もその趣旨を諒として進んで寄附することになれば豫定額に達すること雜事でなく、再三各區長の手を煩はさなくともすむわけだ▼寄附金で思出されるのは近頃歲末に際していろんな金品の强請が殖えて來たことだ、中には日本人にして乞食同樣のものもあり事情を聽いて見れば氣の毒でもある▼がその多くは質の良くない者で、いはゞそうした現狀も已が蒔いた種とも見られる、恐らく親類や友人知人から見放されてゐるものと思ふ▼こうした種類の人間を救ふことは本人のために却つて百害あつて一利なしで、泣きつかれる吾々に取つては迷惑至極だ

北滿

北滿の氷上自動車 漸く運行開始
本年は三十年來の暖かさ

【ハルビン國通】毎年十二月に入れば北滿はまさに殺人的嚴寒となるが本年は松花江の氷に龜裂を來たし氷上運輸に多大の支障を生ぜしめる等三十年來の暖かさだと云はれてゐるが、去る十六日夜來氣溫は俄然低下し大興安嶺以西は銀世界と化し又ザバイカル鐵道沿線も大雪のためにシベリヤ經由國際列車も約十時間延着した、一方ハルビン鐵路水運局ではハルビン、同江間の氷上自動車運行を延期してゐたが寒氣も本格的となり氷上運輸も安全と見透しがついたので來る廿二日より旅客貨物を滿載して本年最初のバス十八臺が一齊に勢揃ひしてハルビン發松花江下流に向つてスタートすることゝなつてゐる

各地商標統制の名稱變更

【ハルビン國通】地方行政政治の改革に伴つて從來各省の名稱を冠した高等法院は、今後奉天を第一、吉林第二、黑龍江第三、濱江第四、熱河第五と改稱される模樣で全國の高等法院を五分する事になる模樣である

高粱を配給し 積極的に貧農を救濟

【ハルビン國通】ハルビン對岸一帶の貧農救濟については先般來市公署に於て鋭意對策を協議中であつたが、王道樂土安居樂業の滿洲帝國內に於て餓死線上に彷徨する者があつてはならぬとの見地より今回高粱を配給して積極的に貧農を救濟することゝなつた

本年度實棉の收穫 前年の約十倍

【ハルビン國通】滿洲國棉花會社では疲弊農村救濟を主眼として棉花栽培耕地面積の擴充に多大の犠牲を拂つた結果本年度の實棉の收穫は前年度に比較して約十倍の好成績を示し國內棉花界のエポックとして注目されてゐる

天理教農村附近に 小匪賊頻々と出沒

【ハルビン國通】阿什河沿岸にある天理教村附近に最近小規模の匪賊出沒しはじめた、即ち去る本月九日四名の馬賊は天理教農村東南方十四滿里の滿人の農家を襲ひ金品を強奪した上王其外一名を人質として拉致し十日午前五時頃三名の馬賊は手に手に梶棒を持つて天理教農村の東南方四滿里の滿人宅轟冒號を襲ひ馬匹二頭を強奪して引揚げ、十三日夜半に至つて又もや滿人を襲つて金品を強奪し、十四日午前五時頃又復滿人宅を襲つたが通行人に發見され四名の馬賊は一物も得ずして何れかへ逃走したが農民はこそ泥の出沒に不安にかられ一層警戒を嚴重にして之が撲滅を期してゐる

北鐵退職金をめぐつて 到る處で悲喜劇

【ハルビン國通】多年懸案となつてゐた北鐵當局の退職者に對する支拂は引續き行はれてゐるが十七日北鐵當局は國幣卅五萬圓を支拂つたが支拂を受けた者で一家揃つてニコニコ顏のものがあるかと思へば、債鬼高利貸に苛められさては夫婦げんか、お家騷動までおつ始める者もあり、退職金をめぐつて悲喜劇が展開されてゐる

洮索新線 一部營業開始

【兆南國通】兆索線は從來兆南より懷遠鎭に至る八十三キロを運行してゐたが今夏の洪水以後兆南—寧家溝間七十一キロに短縮され殘餘の十二キロは鐵路總局バスで連絡中であつたが、最近兆索線第二次工事進捗し去る十五日より寧家鎭—王爺廟間の營業を開始した、尚兆索線の完全開通は明年三月頃の豫定である

興安南省の 文盲撲滅計畫

【鄭家屯國通】興安南省當局では省公署設置以來鋭意省內住民の啓蒙に努力し來つたが就中文盲撲滅の急務なるに鑑み康德二年七月より一年間計畫で僧俗男女を問はず十五才より五十才までの者は新聞、書籍を讀み得る程度の義務教育を施す事に決し之が經費二萬圓を計上し本計畫案を目下蒙政部に申請中である

追放ソ聯人の退職金 北鐵ソ側より抗議

【ハルビン國通】北鐵ソ聯首腦部は北鐵滿洲國側が治安擾亂不穩分子の廉で國外に追放した北鐵ソ聯人從業員に對し退職金恩給の支拂を履行しないと不滿を懷き副理事長代理パンドーラ氏は此程李督辦に對して右抗議を提出した

東滿

滿洲鏡泊學園 愈よめでたく竣工

故山田總務遭難以來悲歎のうちにも雄々しき奮鬪と辛酸の學園建設に死力を盡しつゝあつた滿洲鏡泊學園新校舍は今春來新京中山政助氏建築主任となり全學園生協力して工事中のところ先月末漸くその第一期が完了木匠、瓦工、苦力百餘名を引具し十一日敦化に引揚げた、總建坪數千五百坪米平屋の白亜の勇姿を鏡泊湖上に投げかけ理想鄕學園村實現の第一歩をふみ出した、（寫眞は新築落成の學園第一宿舍の全景と樺の大木に懸る「實行の鐘」）尚ほ落成式は敦化からの日本酒がつき次第盛大に擧行される筈である（敦化支局發）

東本願寺婦人會 東北へ義捐

【敦化支局發】既報東本願寺婦人會では東北凶作地方義捐金募集中のところ十五日全會員の心からなる義金二十三圓をまとめ領事館に寄託した應募者氏名左の通り（順序不同）△安武キク△福田芳子△根岸たせ△野村きよみ△丸尾すわ△高木貞子△山口京子△高山ちか△勝見□子△家野すて△森すみ△河合たつ△岡本たけ△中野みつ△濱田靜江△菅野照子△牧千代△吉岡かの△伊部けい△山淵美代△山口エツ△早藤ふさ△大橋くに子△菅崎はつ子

穴澤俊民氏着任

【敦化支局發】東城前國道局敦化事務所長の潭春專任榮轉により後任として穴澤俊民氏着任各方面を歷訪挨拶するところあつた

敦化寧安間 國道開通

【敦化支局發】敦化寧安間を結ぶ自動車道路（國道）は今春來官地東京城間を森本組の手で工事中のところ完成したので結氷期と共に引揚げたが敦化國道局事務所では之が檢分のため十三日當地發檢査に赴き十六日歸任した、なほ鐵路局運行の寧安ゆき直通バスは來春早々開始される筈である

滿期兵除隊式

【敦化支局發】獨立守備隊第〇〇隊本年度滿期兵〇〇〇名は十五日除隊式を行ひ十六日午後零時五十五分敦化驛發列車で市民多數の見送りをうけ歸鄕凱旋した

岸憲兵班長着任

【敦化支局發】岸憲兵隊班長の後任として白木軍曹來任、氏は柔劍道四段前新站分隊班長として活躍した名班長である

婦人會總會

【敦化支局發】滿洲國敦化婦人會は十六日午前十時より東門裡慶興舞台で第一回總會を開催、家庭教育の徹底を申合せた

忘年會

【敦化支局發】在敦化警務關係者より成る憲友會忘年會は十五日午後六時から東門外若松に於て開催盛會

◇縣公署忘年會は同日午後四時から東門聚英樓に於て開催された

◇滿洲鏡泊學園敦化事務所忘年會は古橋學園幹事來敦を期し十五日午後八時から若松に於て開催された

新吉林省內の 匪賊狀況

【吉林國通】舊吉林省內の匪賊總數は省公署の統計によれば一時十三、四萬を稱へられてゐたが、十二月一日改省實施の結果舊管內中最も匪賊の跳梁地たる濱江地區及間島濠江等が除かれたのとその後に於る日滿軍警の徹底的剿匪工作等により逐次數を減じ、目下の處は大小匪を合し三千四五百名に減縮してゐる

第二教導隊討匪

【吉林國通】第二教導隊〇〇〇名は隊長劉少將引率の下に拉賓線の巨匪李德林を徹底的に掃蕩すべく〇〇日來出動中全軍の士氣旺盛、目下〇〇に向け進擊中である

南滿

安東省連警察廳長新京へ

【安東國通】來る二十、廿一の兩日に亘り新京で開催される警務廳長會議に出席のため連安東省警務廳長は十八日午前十一時發ヒカリで新京に向つた

營口憲兵分隊長着任

【營口國通】松山憲兵分隊長より營口憲兵分隊長に榮轉した大尉藤野鬱丈氏は十七日午後四時三十六分着列車で着任したが驛頭には多數の出迎へがあつた

安東省公署移轉

【安東國通】安東省公署の新築廳舍は內部設備が未完成の爲め去る一日の開廳式擧行後事務は手狹な驛備處で執られて居たが右の新廳舍もやつと昨今になつて煖房裝置まで出來たので明二十日を期し移轉が行はれる筈である

滿洲東方の大玄關 清、羅、雄、三港見學記（六）

在新京 十五郎生

砲台山は敦化驛と市街との中央北寄りの小高き丘上にありこれに登れば敦化市街は勿論盆地全体の眺望を恣にすることが出來る、市街地は事變後數回に亘つて兵匪の砲火を浴ひた市街であるが特に昭和七年九月第三回兵匪の敦化攻擊には戰鬪實に二十一時間、市街六ケ所に火災起り特に此砲台山の白兵戰は言語に絕する悲壯なるものあり、滿洲事變と共に永久に語り傳へらるべき激戰地であることを物語るべき表忠塔あり

◎秋晴や天高ふして 塔の立つ

吉林より敦化までの鐵道は吉敦線と稱し、從來敦化を終點として物資茲に集中して殷盛を呈したものであるが東方圖們に通ずる敦圖線開通と共に一層の發展を見るに至れるものである

抑も此敦圖線建設に付ては言語に絕すべき實に悲酸なる一場のエピソードがある、京圖線便乘者たる吾々は感謝の淚を以て迎へねばならぬ事だと感じたのである、始め圖們線建設に當り即ち昭和六年十二月、全線區域を三分し、吉林政府軍警保護の下に測量を開始したのであつたが途中兵匪の爲めに非常なる迫害を受け一時引上の止むなきに至つた依て更に昭和七年一月多數の警備に依て再び着手し拂へども又來れる夏蠅、幾多の兵匪と剩へ凛然身を斬るばかりの酷寒と鬪ひ、粗惡なる食料に命を繋ぎ、以て克く決死的努力を拂ひ、遂に三月下旬之れが測量を完成し得たのであつた、然し本線の重要性は實に工事の速成にあつたのである依て工事を三段に別ち、昭和七年五月より全線一齊に起工した、時は將に北滿の時局愈々險惡を加へ、加之沿線一帶兵匪の跳梁夢擊は益々激しく已むを得ず遂に哈爾巴嶺以東は朝鮮軍の出動あり、以西敦化方面は關東軍の掩護を主力とし或は無電を設立し或は航空路を開設し工事萬全の警備を期したのであつた、百萬の敵恐るゝに足らずとするも、土木工事の最も苦手とする所は實に豪雨である、然るに惡い時は惡く天は無情なるかな例年に稀なる豪雨を降らし、工事の困難は言語に絕し幾多の犠牲を續出するの悲慘事を生めり、斯くして克く天魔人鬼の障害に抵抗し破邪金剛の正力を以て敦化圖們間實に一九一キロの難工事を着手以來僅々十一ヶ月を以て完成した事は鐵路建設史上未だ比類を見ざる速成記錄を示したと言ふ、嗚呼吾人淚なくして此線路を通過せずには居られやうか、特記して該工事に携はりし諸員に敬意を表す

◎車窓よりのぞけば 袖の時雨けり

◎隧道に橋梁に 幾多時雨るゝよ

◎深山木は人の見ずして 花散れり

尚敦化より圖們に至る間、即ち敦圖線工事の情況を概說せんに、敦化驛より東へ一キロにして牡丹江を渡り所謂間島と地形的境界を形成せる哈爾巴嶺までは坦々たる平野と小丘に次ぐに濕地にして、線路は南丘地に避け一路上り勾配は哈爾巴嶺海拔五百米の本線路最高峰に達す、嶺の東西は約六十米の高差がある、哈爾巴嶺隧道を低き間島に出てから所定の勾配を得る爲に南溝まで五キロの大迂回をなし二つの短隧道と大築堤大切取が施されてある、亮兵台、明月溝あたりの布爾巴通河は、線路と共に流れ、蜿蜒の水脈を見せて居るが、石虎頂子を出で老頭溝に至る一五キロは溪谷相迫り迂余曲折して十一箇所の橋梁と三六〇米の楡樹州隧道を作る

老頭溝より磨盤山までは工事は難なく捗んだがそれより再び大溪谷に入り小曲線相次ぎ山腹を這ひ磨盤山、小盤嶺の丘陵地を貫いて隧道五箇所、橋梁八箇所があり、山と川とを縫ふて大切取、大築堤連結し、如何に難工事であつたかを物語つて居る、斯くて終點驛圖們に達しそれより一キロにして圖們江に達せり國際鐵橋を渡つて北鮮線南陽驛と連絡して居るのである、

大橋驛敦圖線の完成は昭和八年春であつて急設線であるだけ他線に比して列車の步武も多少は遲いかも知れぬ、沿線各驛共に新興匆々の新鮮さを持つて居る小都市を除くの外は驛附近でも部落らしい部落を形成して居ない大橋驛東方二キロに孤山子屯なる部落あり驛の東方一五〇米沙崗索子あり木材を業とする邦人三戶あり代採地域は滿洲軍隊が警備に當り出材量年額二百車

哈爾巴嶺、大橋より大石頭驛を經て哈爾巴嶺驛に達す、吉林を出てから三つ目の分水嶺であり、爺より、虎よりも最も高い嶺であり牡丹江と布爾通河の分水嶺を成し海拔五〇〇米、地理的には延吉省と吉林省と自然的境界をなして居り、從つて此嶺より以東の風物は自ら滿洲內部のそれと異つて居る、山嶺一帶は高山植物に富み夏季には御花畠を展開する、但し氣候は寒冷の爲農作に適せずと云ふ、驛の附近に森林地帶あり、一年の伐出量は一萬噸を越え、尙十數年の壽命を保つべし、尙山中雜木多く薪炭工場十數ヶ所あり

抵抗力 ―をうまく利用すれば 結核は癒ります

胃腸病その他慢性衰弱病の治療にも適用出來る新學說

江戸の大火振袖火事の由來

徳川時代、江戸に屢々起つた數ある大火のうちに、本郷丸山の振袖火事といつて、因縁めいた著名な大火があります。

ある富豪の一人娘が俗にいふブラ〳〵病で身體を蝕まれ、凡ゆる醫藥の効もなく遂に他界したことが抑々の發端。――なにしろ一人きりの愛娘のこと、兩親の悲歎は見る目も氣の毒でしたが、娘の心を込めた振袖をせめてもの供養にと、棺にかけて野邊の送りをし、寺に納めた。處が、この振袖がいつしか古着屋の手に渡り、之が又ある大家の一人娘の手に渡つて大層なお氣に入り。――と、この娘も其後病魔にとり憑かれましたが矢張りブラ〳〵病で、之も遂に妙齢の美しい花を散らして了つた。

娘可愛いさの親心から

思ひ殘さぬ樣にと日頃好みの振袖を棺にかけて納めた寺が、矢張り前と同じ寺。――處がこの振袖が又もや或古着屋の手に渡つた。派出で立派な振袖ですから堪りません、又しても某家の一人娘の求むる處となりましたが、又々この娘も前の娘の樣な病にとり憑かれて、遂に歸らぬ旅におもむいた。――

愛着のこの振袖は三度、寺に納められましたが、不審に思つたのが寺の住職――不思議な事もあるものだ、この三四年の間に同じ振袖を三度も此寺に納め、然もこれが三人共花の盛りの娘であるのも何かの因縁であらう。妄念の祟りか、佛果を得るやう讀經して燒き棄てよう――と、住職は懇ろに經を誦し、寺前の廣場でこの振袖に火をかけた。處かその刹那、一陣の猛風吹き來つて火のついた振袖が空中高く舞ひ上り本堂の屋根に落ちたから堪らない、遂に市中に延燒して、さしも繁華な大江戸を燒野の原にした。――之が當時、因縁めいて騒がれた振袖火事であります。

併し今日では、これは別段、因縁の妄執のと騒ぐ程のものではなく、最初の娘のブラ〳〵病は

恐らく肺結核と見て差支へ

なく、この肺患者の着た振袖が娘から娘へ渡つて結核菌を傳染し、遂に無情の風に誘はれたのであらうと、今日の醫師は解釋してゐます。

斯ういふ風に、結核は實に感染し易い病でありますが、これを眞に癒すのは、

衰弱した身體の組織細胞に

再生の活力を與へて全身の抵抗力を强めること、即ちあなた自身の體内に備つた天賦の療能力を昂めさへすれば、結核は至つて癒り易い病であります。

そして、細胞に賦活して天賦の療能力を昂めることは、結核を癒すのに唯一の療法であるばかりでなく、胃腸病其他の慢性衰弱等が癒る基調となる重要なものでありますから、次の食慾素の項で今少し詳しく說いて患者の療養上に資したいと思ひます。

ボアス教授を驚かせた 食慾素の話

吾々が過つて負傷

して、傷口から黴菌と侵入したとしても、繃帶しておくだけで完全に治癒する場合が多い、――之は體内に自ら人體の故障を修理する天賦の療能力が備はつてゐるからであります。

結核とてもその通りで、たとへ結核菌が體内に侵入して病竈が擴がり、二期、三期と呼ばれるやうになつたにしても、人體には之に應じて抗體を出し、病菌を滅消しやうとする天賦の療能力がある。

結核が進行した

り、結核で斃れたりするのは、折角、天賦の療能を持ちながら充分に之を促進する方法を講じないからであります。

近來、ヘーフエ菌から發見された活性藥若素(わかもと)を服用して不思議に結核熱が下り、盜汗がやんでつひに結核菌の勢力を挫き

體重がめき〳〵

と增加した人々が非常に多いのであります。

この生物藥は、在來の化學藥劑では見られなかつた夥多の活性酵素を保有してゐて、之が衰弱した全身の組織細胞に再生の活力を與へて天賦の自然療能を增强し、體内に抗體を造る――この抗體が寄つて集まつて結核病竈を包圍攻擊して結核菌を溶殺から、自ら熱も下り盜汗もやんで、遂に結核が癒ります。

若素(わかもと)は、結核で衰弱してゐる組織細胞に再生の活力を賦與して、結核の療能力を增强するばかりでなく、諸種の病氣の爲に衰弱した細胞といふ細胞には悉く再生の活力を與へますので

胃腸病で胃腸の

機能が衰弱しておれば之を健全に整へる結果として、胃酸過多症や胃弱を輕快し、便通も自然に生理的な普通の狀態になり、又、慢性の衰弱者も、全身の組織細胞が活潑になる結果、食慾が進んで、衰弱がメキ〳〵恢復します。

重症の結果患者や胃腸病、脚氣、神經衰弱などで食慾不振に惱んでゐる人々が、若素（わかもと）を服用して眞先に目に見える効目は食慾の增進であります。

若素（わかもと）がこんなに食慾に効果があるのは。ボアスといふ世界的の胃腸病學の大家が

食慾素と名をつけ

た程の「インシユリン」なる成分が若素（わかもと）に含まれてゐるからであります。

育兒メモ

小兒の消化器は脆弱で、毀れ易いにも關らず、旺盛な成長發育の爲に、寧ろ大人に比較して多くの榮養を必要とします。

要求するだけの榮養量を、食物で與へると、小兒の消化器には負擔が重過ぎて、ともすれば消化不良を起し勝ちです。

所が有名な若素（わかもと）の中には、多くの消化酵素があつて胃腸を丈夫にするので、消化不良など起さぬ樣になるのみならず、脂肪、蛋白、グリコーゲンや、特に小兒の發育に缺くべからざるカルシウム、ヴイタミンB、D等を殆ど消化器を勞せぬ樣なコロイド狀を含んでゐるので、お乳や食物と一緒に與へると非常に重寶です。

斯ういふ風に、人體に自ら備はる自然療能を增强して種々の病氣を自力で癒せる樣に仕向ける生物藥は、これ迄になかつただけに、各臨床醫家を始め、結核、胃腸病一般衰弱者等からとても賞用せられてゐます。

それに、比較的長期の療養を必要とする患者にも粉末三十日量一圓六十錢、九十日量五圓、錠劑廿五日分一圓六十錢、八十三日分五圓といふ奉仕的廉價は、經費の點からいつても大きな福音で之は若素（わかもと）が特殊機關たる日本、東京市芝公園大門内、榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇〇番）から頒布されてゐる爲で、滿洲國各地の藥店でも右の價格で販賣されてゐます。

癒り難かつた結核を自力で治した經驗

大阪市　西村篤

私は三年前に肺尖カタルの診斷を受けましたが之は、私を心配させまいとする醫師の新切な御配慮であつて、實は當時既に肺結核であつたと信じてゐます。

夕刻には發熱

夜は盜汗――そして屢々、喀血しました。それに私は、胃腸も弱くて食慾がなく、便秘に惱まされてゐます。

そして身體は段々痩せます。その後いろ〳〵手だてをした結果、どうしても思はしくないのでつく〴〵悲觀してゐた時に、親戚から見舞に貰つたのが「錠劑わかもと」です、これは單に胃腸と榮養の藥だと思つてゐましたが、後になつて、體内の自然療能力を促進する特殊の生物藥で、之は藥といふより健康者にも必要な貴重な療能力素だと思ひました。

「錠劑わかもと」を服用して數日後には、快い便通がある樣になり、其後は毎日規則正しい便通になつて、段々するうちに發熱、盜汗、胸痛等が消えて、食慾がグン〳〵增進しました。然も私は

用量用法は無視し

て、一時間おき位に十錠位づゝ飴でもシャブル樣に隨意にシャブつてゐました。すると、其後は喀血もなく、貧血がなほつて日に〳〵身體に肉がついて衰弱が恢復しつゝあります。私は、「錠劑わかもと」を服用し始めて、結核は他力本願では絕對にダメだ「錠劑わかもと」の樣にあくまで人體の療能力を促進して呉れる療能素で自力本位の療養をすることが唯一の療法だと確信するに至りました。

日本刀の話（十）

梅枝町　秦大川述

宗近の同銘六人

今鍛冶早見書に宗近三條永延のころ三條宗近三條と計りも切る一字銘も切る河内有成同人とも又有成とも云ふと記し平安城住三條

宗近

伊賀阿拜郡住宗近建武ごろ備前宗近正平二年三原住宗近備後薩摩一人づゝ天文とある丁度六人ある伊賀の宗近に往々二字銘の物があつて是れが三條宗近と混同さるゝ事がある平安城宗近は未だ見たる事はないが是れも或は在銘物などは三條と同物視せらるゝ事があるかも知れぬ昭和五年五月小生が紀州有田郡藤並村中野道場主富楠氏にある宗近は銘も正しき物なれど實は伊賀の宗近なり本阿彌が三條と

鑑定

したれど地鐵は伊賀の地鐵相違なりと信ずる宗近の子孫の系圖も諸書いづれも異同あつて一定して居ない本打鍛冶考の三條系圖と云ふものを詳細に抄出して見ると左の如くなる

宗近　宗家　宗安　宗延
宗利　宗忠　貞利　宗永
宗近　宗則　三條吉則
吉廣　重正　重義　重久
重吉

以上は三條系圖を對照して見ると宗近宗家だけが同じで其他は悉く違つて居る斯く異同のあるのを見ても鍛冶の系圖と云ふものが信用の出來ぬ事が分るこれは宗近ばかりではない多くの

系圖

が皆からである何を標準にして異同を辯ずればよいか實に至難中の至難と云ふは此の事である先祖の事已に疑はしく子孫もまた明瞭でないとはさてさて困つた事である

宗近の太刀

宗近の太刀の特色は別に記す處があるから玆には

略す

として歴史上に見へた宗近作の刀がどれ程あつて今現に諸家に保存さるゝ物が幾振あるかを一つ一つ調べて見やうと思ふ最も有名なるは小狐丸である此の太刀は一條天皇御即位御願我就の事あつて奉納の爲め新たに御劍を御打になるにつき橘道我を勅使として宗近に仰つけられ一七ロ稲荷山に參籠して鍛錬した寶劍である之を小狐丸と呼び保元物語りに信西末座に候す袖小なる淨衣に家に傳へたる

小狐

丸と云ふウク鞘の太刀を佩き信西宣旨承りて義打を召すとあるまた此の小狐丸は九條家傳來ともあるが其後遂に行衛が分らぬ享保四年に久世大和守が八代將軍の命を受け諸藩へ命を下して捜査させたれど分らず越前足羽郡阿波賀村春日神社に古來より小狐丸と言傳へた太刀があつて宗近二字長二尺二寸二分これは小狐丸影とある太刀で寫してあるが影打の物であるか小狐其の物ではない將軍も

一覽

の上返付されたと云ふ其外に小狐と云ふ物もあるが皆僞物であるが皆僞物である是れは紛失したか燒失したか蝶丸と云ふは鎌倉權五郎景政の太刀で是れも宗近作越後の城太郎に傳はり奧山貂不動大明神へ奉納してあつたとあり和田三郎右衛門田地を寄進してこの太刀を申受け不動丸と名づけたとあるまた越後の城家に野干丸と云ふ宗近作の太刀があつて今は同國長岡の商家にあるともまた見附の愛刀家の手にありとも云ひ

確と

した事は分らぬ三ヶ月丸宗近は山中鹿之介の佩刀今徳川に傳はる長二尺六寸四分半優れたる名刀なりと云ふ鷹巣宗近は島津家にあり是れは三條と許り銘のある刀長さ一尺四寸海老名宗近長一尺一寸二分柄鞘共に二尺五寸と云ひ東山義政の佩刀太閤の手に入り大阪にて燒けたる物なり徳川の靜の薙刀前田家の薙刀ともに義經の妾靜が所持と云ひ二振とも宗近作徳川にては青貝鞘の御打物と稱し

大切

の道具で本丸玄關獅子の間の床に飾りつけ御徒組の者監視す前田家にて寶藏を別に建て宗近の小太刀とこの薙刀のみを納め番士を置いて嚴重に保管したと云ふこの薙刀は有名である水戸德川に宗近の小太刀がある東照公より威公頼房に賜はり頼房より義公光國に傳はつた物長一尺五寸六分是れは同家にては重寶六口の其一である大和郡山の柳澤家に宗近がある長二尺六寸半三條宗近の四字銘京の

愛宕

山に宗近あり長二尺四寸九分熱田神宮にあるは七兵衛景清の佩刀東京王子の稲荷に越後新發田の藩士江口源左衛門奉納の宗近あり長二尺三寸五分八厘松平子爵（守山）家に宗近一字銘の刀あり長二尺八寸二分亂れ刃これは東照公より傳はつたる物と云ふ右の外に外にも古刀銘盡大全の押形其他の書にも少々ある著名の物は右に擧げたる數刀であるさてさて此等の宗近はみな正眞の物なりや否やと言へば

分ら

ずと答ふるより外はない刀劍鑑定歌傳に宗近の太刀至つて世に稀なり堂上方貴家に於て宗近四振拜見するに恐れ乍ら眞の物にあらず正眞は御物（三日月）と薩州候の鷹巣の外に未だ見ずとある是れほど世に稀なる刀なれば如上の物すべて正眞とも言はれまい我等も二三振

拜見

したが未だ何とも斷言が出來ぬ

大切な婦人の貞操
男子の童貞と異る

女はなぜ貞操を守らなければならないか、また男は道徳上の問題は別として、それほどやかましくいけなくてもよいかといふことを一通り心得ておくことは、人心が享樂的に傾いて、ことの外女の貞操觀念が弱くなつた現在においてはなはだ必要なことであります、女は

貞操を

守らないとその血液が不純になつてしまひます、つまり男子のあるものがその血液内に吸收されて、遺傳關係に惡い影響を與へるやうな物質が殘ることになるのであります、再婚した婦人の子供が先夫に似てゐるといふので問題を引起すことがあるのも、またこの關係に基いて居るのであります、かやうに女は異なつた男に接する毎に異なつた遺傳物質を受けることになるのでありますから、貞操はぜひ堅く守らなければならないのでありますまた貞操を破つた女が精神的にある影響を受けることはいふまでもありません、要するに女はよい

種族を

殘すためにまた自分といふものを傳へるためには自然的に貞操を守らなければならないやうにできて居るのでありますから、いつもこの事實を充分飲み込んでおくことが必要です

贈答品の心得

◇水引の掛け方と熨斗の用ひ方◇

水引の掛け方は濃い色の方を右にして結ぶが定め、從つて赤白は赤が右、金銀は金が右赤金は赤が右、黑白は黑が右（黑白は凶事に限る）結ひ方には四通りある、眞結は一文字結ひであつて、婚禮、弔事に用ひる、婚禮の時は水引の先を切らずに卷く、弔事の時には水引の先は必ず切る「蝶結」は俗にいふ花結ひのこと婚禮弔事のやうに、戻る返るといふ事を忌む場合には用ひないが、一般の場合に汎く使はれる、鮑結は弔事以外何時用ひても差支ないが、逆鮑は弔事のほか用ひられない、熨斗の用ひ方は水引をかけた後で、向つて右に挾んでおくもの、鄭重な祝ひ事には長熨斗を用ひる、魚類、鳥類、獸類、などすべて動物性の食品には熨斗を添へない、然し魚類を美しく見せるために熨斗代りとして笹葉檜の葉、南天の葉などを用ひる、弔事には昆布を熨斗代りに用ひることもあるが、一般には用ひない

◇表書き◇

贈物を本人が持參する時には懇意の間柄で、お互の家族同志顔馴染であれば表書きに改めて氏名を書かないのが禮としてある、また手紙を添へて贈る時には、長上、目上に對しては「御目にかけ」といふ婚禮などの場合には別に目錄を添へるのが本式だが一般には品物の包みに書く、金圓贈呈の場合には目錄には「金時計」の如く物品名を記し、現今は金額記入の下包みをしてから上包をし水引をかける、香奠を贈る時も、下包をして金額を記す、祝事の場合の進物の表書に「御祝」「御慶」「壽」などと書く、弔事の時は一般に「御靈前」忌明の時の返禮には「志」と記す、年始には「御年玉」「おとし玉」「壽」「松の葉」歳暮には「御歳暮」と書く

憐れな人々へ救ひの手

【奉天國通】歳の瀬も愈々迫り何處でもお正月の準備に日も足らぬ有様であるが、中にはお正月の餅も搗けぬといふ憐れな人達も澤山あるので、奇特な市民達からは續々奉天署に救濟金品が屆けられてゐる、その中には米、醬油から奈良漬等もあり、其他ボーナスや貯金箱の中から現金を屆けて來るものもあり、之等は全部一纏めにして近く貧困者に對し分與される筈である

木炭の經濟的な使ひ方

木炭に水をかけて使ふと長持ちするとか言つて水をかけて使ふが大變炭の質を悪くしますから却つて損です、寧ろ海水程度の鹽水に浸しよく乾かして使ふ方が得です、そうすればハネも止ち火持ちも良くなります、次に炭を使ふには、先づ第一に用途に注意しなければなりません、木炭はその出す熱量は軟炭も硬炭もさう差はなく只熱量の出し方が違ふだけです、軟炭は急く場合、硬炭は一定の温度を必要とする時で例へば物を煮詰めるといふ樣な場合に用ひます

ラヂオ版

十九日（水曜）新京

午前の部
六、五〇　ラヂオ體操（東京より）
七、一〇　ラヂオ體操（滿語）
八、三〇　經濟市況（東京より）
八、四五　天氣實況（日滿語）（奉天より）
九、三〇　演藝（レコード）（滿語）
一〇、〇〇　料理獻立（東京より）（奉天より）
一〇、五九　時報（東京より）
一一、〇一　經濟市況（東京より）
一一、三〇　經濟市況（大連より）ニュース（滿）
一一、四〇　ニュース（東京より）
〇、〇〇　經濟市況（大連より）
經濟市況（日語）

午後の部
一、一五　ニュース（日語）
一、〇〇　演藝（滿語）二進宮　西群仙　佩芝
二、〇〇　經濟市況（大連より）
二、二〇　成人講座（滿語）維持世界和平須滿日親善　新京地區警備司令部　園克銘
二、四〇　日用品値段（日滿語）
二、五〇　經濟市況（ニュース）（東京より）
三、二〇　ニュース（日語）
三、三〇　經濟市況（大連より）
三、五〇　經濟市況（日語）
四、〇〇　ニュース（鮮語）
四、一〇　ニュース（滿語）
四、二〇　滿語講座　講師　高宮盛適
四、四〇　日語講座（奉天より）同　近藤壽助
五、〇〇　子供の時間（奉天より）
五、三〇　氣象通報　番組豫告（日語）
五、三五　氣象通報　番組豫告（滿語）
六、〇〇　ニュース（東京より）
六、二〇　政府公報（滿語）
六、三〇　講演（東京より）支那警備の體驗と軍縮問題　海軍少將　高須四郎
七、〇〇　常磐津（東京より）常磐津清子
七、三〇　詩の朗讀（大阪より）前田鐵之助　伴奏　高瀬保二
七、五〇　ラヂオドラマ（東京より）九月のある夜　菅原卓作
進行中のある列車所
配役（發聲順）
乘客A　菱刈高男
同B　水原郎
同C　松井修
子供　山田淑子
女　竹河みゆき
アメリカ歸りの夫　前田東屋三郎
同　妻よね　杉村春子
大野木　友田恭助
女學生A　堀越節子
同B　小野松枝
同C　本間美代子
同D　長谷川華
同E　長野都留子
車掌　中野敬太郎
食堂ボーイ　菱刈高男
母親　田村秋子
武二　中村伸郎
良子　白田トシ
プラットフォームの男　黑井洵
その他大勢
演出　川口一郎
出演　築地座
八、三〇　時報、ニュース（東京より）ローカルニュース（日語）
八、四五　國民の時間（滿語）國都建設之概要　國道局福局長　孔世培
九、一五　ニュース
九、三〇　番組豫告（滿語）演藝（滿語）美案　艷春院　桂寶
九、五〇　ニュース（英語）
一〇、〇〇　北滿の時間（ハルビンより）講演、演藝、音樂、ニュース

福壽草と雪割草

新年御目出度い福壽草雪割草の特産地たる長野縣下高井郡延德村の樂花園に於いては希望者一萬人を限り送料荷造り費として郵券廿錢送れば温室栽養笑ひ始めの福壽草六芽一鉢分を送り又十芽三十八錢廿芽七十錢早咲雪割草十芽十六錢廿芽三十錢黄金色千重狂咲水仙六球十五錢十五球三十錢早咲櫻草五株廿五錢盆栽仕立用の紅葉及白實性南天五本廿錢の實費にて時節柄奉仕す

ニッポン　タロウ　探偵の巻

(1) アイテガメヲシロクロシテキルマニ、タロウハスバヤク、キミツシヨルイヲシツケイシテ、マヌケナドロボウダナ、コレハボクガモラツテユクヨ！ト、イツタガ、アマリノイタサニ、クセモノハ、クチモキケナイラシイ……
(2) アハ、、、イ、カツコウダ、マルデヒキガヘルヲタ、キツブシタヨウダゼ、デハシツケイ、ドロボウタン……ト、タロウガアルキダスト、コゾウマテ、ヨクモジヤマヲシタナツ！ト、イタイコシヲサスリナガラ、ヘツピリゴシデタチアガツタ。

滿洲事變の殊勳者 板垣參謀副長 昨夜多數出迎へ裡に着任

板垣少將

新任關東軍參謀副長板垣征四郎少將は十八日午後五時半新京着列車で西尾參謀長、岡村前參謀副長、谷參事官始め日滿官民多數歡迎裡に着任した、板垣少將は事變當時本庄軍司令官の幕下に關東軍高級參謀として滿洲國建國に多大の功績を殘した殊勳者で今夏軍政部最高顧問をやめ再び來滿したもので今回の副長就任は各方面から多大の期待をもつて迎へられてゐる

新舊參謀副長 歡送迎宴 昨夜曙で

關東軍記者倶樂部主催の板垣岡村新舊關東軍參謀副長の歡送迎宴は十八日午後六時から料亭曙で盛大に催された

轉入者續出で 白菊校大繁昌 早くも千名を突破

去る十一月一日尋常一、二年各二學級を以て假開校した白菊小學校は十二月一日から尋常三、四、五年各二學級を加へ正式開校したが、いらい引續き滿洲國、電々會社、中銀その他諸會社々宅、商店街一部竣工などに伴つて中途轉入者は毎日四、五名が押しかけといふ狀況で、これがため同校では至急尋常一、二、三年各一學級の増級方を要望中のところ、地方事務所では十八日本社にその旨を申請した、現在同校の在籍兒童は十學級五百七十名で下級に從つてすし詰めの狀況であるが、なほ西廣場校四五年生にして同校內に當分假住居してゐるもの十學級(白菊校とほゞ同人數)でこれを加へると都合千名以上を收容してゐるわけである

白菊小學校 廿三日開校式

白菊小學校の開校式は二十三日午前十時から同校講堂で盛大に行はれるが式の次第は左の通り

開會の辭、國歌合唱、勅語奉讀、勅語奉答歌、管理者挨拶、工事經過報告、滿鐵總裁告辭、來賓祝辭、學校長式辭、校歌合唱、閉會の辭

公會堂資金 漸く半額整ふ 余り捗々しくない

新京公會堂資金十萬圓の調達方については名方面の寄附にまつこととし、目下頻りに募集中だが、十八日まで集つた總額は五萬三千六百二十七圓八十一錢、その內譯は滿鐵三萬圓、軍部一萬圓、一般一萬三千六百二十七圓八十一錢で各區別は左の通り(單位錢)

一八三五、〇〇 朝日區
一三三三二、一五 吉野町區
四二五、〇〇 鐵北區
一二三四、四五 三笠區
一五三、〇〇 西廣場區
五〇〇、〇〇 富士區

なほ大口としては滿洲國と關東廳の分はあるが、未だ正式に決定せず、其他の各區は目下頻りに募集中だが余りはかばかしくないので當局者は焦慮してゐる

理事長に 吉澤總領事

財團法人新京公會堂の役員には理事長に吉澤總領事、常務理事に荒木地方事務所長、理事には約二十名を推薦することゝし近く全部の顏觸れが決定されるはず

移民悲話、奇話、笑話(上)

「大地を耕す者は人生を耕す者なり」とある詩人は云つた 拓務省移民の現在こそ故郷離れて

海山千里 廣莫果しなき滿洲の原野に最初の鍬、鍬を入れ土を起し種を播き、實を結ばせ、やがては立派な文化を持たうとする人生の耕作であつてこの言葉にぴたりと當嵌まる生活である、そして見ようによつては銅色の空を背景に晩鐘を聞きつゝ夕の祈禱を捧げる北歐農民の生活を畫いたミレーの畫を『まぜる詩的な生活でもあり、見ようによつては氷雪と朔風に荒されたシベリアの原野を耕すロシア農民の生活を畫いたドフトフエフスキーの『農奴』を想はせる陰慘な生活でもある、斯樣に希望と

無限大の 惱みの交錯する滿洲移民の生活はその人の感受性如何にもよる事だが大体に於て固定せる內地の農民の想像だにも及ばぬ位有形無形の變化に富んだ生活である、此生活の中から珍らしい悲話、奇話、笑話が生れぬ筈はない、第二次七虎力移民團の中からそれを拾つて見ることにする

鐵砲自殺をした移民の話

××縣出身の移民の中に廣田雄造(假名)といふ純朴な青年が居た、移民の誰でもがそうである樣に萬歲の聲に送られて故國を立つときしなやかな日本娘の肌の香がにわやかに懷かしくてならなかつた、押へ樣とすればする程胸の中は燒きつく樣で遂に神戸を

明日出帆 するといふ晩一杯の酒に拍車をかけられ紅燈の巷××で絹張りの色行燈の下で滾くさんざめく絃歌を聞き乍ら心ゆくまで日本娘の厚い情を味はつたのだ、もうこれで心殘りはなし、大いに滿洲で働くぞと勇躍して廣田は渡滿の途に就いた、旅程は進みハルビンから移民船に乘込み松花江を一路佳木斯に降る途中、廣田はある疼痛を感じたのである若しや?と思ひ乍ら移民醫の診察をはばかつて船醫の診察を受けたところ、船醫の一言は廣田を愕然たらしむるに充分であつた、「畜生、々々」蒼白に變つた廣田の唇からは

無念遣方 なき憤怒の言葉と悔ひても歸らぬ悲しい吐息が洩れた、夏の美しい松花江の風景も眼には寫らなかつた、人に話せば一笑に附せられる態の些細な傷であつたのだが彼にとつては眼前が、人生暗黑で絶望された樣に感じられたのである、それ程未だ純朴だつたのである、友人達は急變せる彼の態度をいぶかり乍らも佳木斯に下船し、やがて憧れの七虎力の移民地へ入植した治療をせずに放つとけば惡くなるにきまつたことで、我慢が出來なくなつた廣田は移民醫の門前に

何回とな く足を運んで見たが、性來內氣の彼にはどうしても恥しくて門がくゞれなかつた、一回花柳の階段を踏んだ者はもう後は平氣である樣に一回あれの診察を受けた者は二回目は平氣であるのが普通だが、勇氣付けて呉れる惡友もなかつた廣田は遂に最後まで性病を秘して純眞な移民として申譯がないと獨り苦しみ悶へた擧句悲慘な自殺を遂げたのである時ならぬ銃聲に驚いて逸早く友が馳けつけた時歩哨に立つてゐた筈の廣田が折柄七虎力の地平線に沈まふとする赤い夕陽の光を浴び綠の牧草の上に銃口を口中に差込み覺悟の自殺を遂げてゐる

悲慘な姿 を發見した、死の原因は彼の遺書によつて直ぐ明かにされたが其內容には「移民地を汚して申譯がない、自分の骨は此七虎力に埋めて欲しい、諸君の成功を地下でお祈りする」とあつた、此餘りにも痛ましい事實に直面して一同は泣いた、滿洲事變で出征した一移民は「なあんだトラッペルは滿洲の風土病じやあねえか、死ぬなんてえ事があるか」と吐き出すやうに云つて土のついた大きな掌でくしやくしやの泣面をこすつた

狐が資源を教へた話

忠犬ポチが花咲爺さんに小判の在かをワンワンこゝ掘れで教へた話は小供時代から誰でも知つてゐるが

石炭の在 かを狐が教へた話はここで始めて聽く、その童話めいた話の眞相はこうである、土龍山事件も終り播種も濟んで七虎力移民地に漸くのんびりした夏が訪れた或日團員總出の獸狩りが始つた、數人の團員が親子三匹の狐を發見し二匹の子狐は難なく捕へたが親狐は深い穴の中へ逃込んでどうしても出て來ない、そこで一同智慧を絞つた擧句穴の廻りに雜木を積んで燃したが狐は出て來ず變に黃色い煙が上つて來た、狐がこげてゐるにしては臭ひが變だとシャベルで掘つて見ると狐の姿は見へずなほも掘ると石炭が燃えてゐる一同ひつくり

小狐を放 して本部に注進し指導員の調査を求めると相當な石炭層らしいとの御托宣に二度びつくり、目下この石炭を滿鐵に送つて試驗中だが不思議な事はその穴へ逃込だ筈の親狐の姿は杳として不明で移民連は多分狐が小供を放して貰ひたさに石炭の在かを敎へたのだらうと決め、道理であの時出た煙が狐色だつたと朗かに取沙汰してゐる

百キロ放送の活用 放送編輯會議 第一日

【大連國通】電々會社に於ける放送編輯會議の第一日は新京百キロ放送の活用と之に伴ふ大連、奉天、ハルビン三放送局の運用方法を協議した、現在午後六時以後の東京中繼演藝放送は孟家屯受信所で受信したものを有線で寬城子百キロ放送所及びハルビン、奉天、大連の各放送局に送つて夫々中繼放送してゐるので全線とも東京演藝放送によつて獨占される譯であり、これでは百キロ放送局の使命が全然沒却されるので之が改善を次の如き方法に依り行ふことになつた、即ち東京の演藝放送を新京の百キロ放送が中繼する場合はハルビン、奉天、大連三放送局は語學講座又は滿人向きのローカル放送を行ひ百キロ放送局が滿人向の國內放送を行ふ時は三局は日本人向きの東京中繼その他の放送を行ふ、百キロと三局の分立である、之を實現するためには現在使用されてゐる受信機を改善する必要あり電々會社では全滿ラヂオ商その他と連絡し受信機の改善を圖る外ラヂオ相談所を活用實現に努める方針である

教員講習所 近く第八期募集

文敎部は建國以來廢頽せる各地の學校を復活せしめ或は國定教科書を編纂して全國の教科書を統一し又吉林省立第二師範學校は教員講習所を設置して全國各學校より推薦せる小中學教員約百名に毎期三ケ月間王道政治の概要、及現在教育を指導する等教育の改善に鋭意努力し既に第七期を了し近く第八期を募集することになつてゐる、右講習所の教授科目の増加並に充實の爲め今回教授を增員することとなり十七日國務院會議に官制改正の件を提出した

越境事件に ソ側相變らず不誠意

【ハルビン國通】ソヴイエートの滿洲國境官憲の不法越境事件は枚擧に遑がないが、過般ソヴイエート兵數名がアムール河を渡り莫河の下流百八十滿里の滿人部落に侵入した事件に關し、滿洲國側では去る十四日ソヴイエート總領事ライビツト氏に對し抗議を發したが、ラ總領事は例に依つて早速調査して何分の回答をなすべしと約したのみで一向音沙汰が無い相變らずの不誠意振りを示してゐる

高參謀長 管下巡視

【奉天國通】高第一軍管區司令部參謀長は司令官代理として管下警備狀況並部隊慰問のため十八日午前十一時奉天發十一日列車で安東、鳳凰城、岫巖、營口方面巡視の途に就いた

西廣場小學校の 第一回揮毫大會 本社後援で來春匆々開催

西廣場小學校第一回揮毫大會は本社後援のもとに來春匆々開催する、同校では一年生から六年生まで全部新年の書初をやつて三學期始業式當日の一月六日までに先生へ提出し職員全部が審査員となつて嚴正に審査を行ひ入撰者には賞狀及び賞品を授與し優秀者には本社特製の記念メダルを贈呈することになつてゐる

國幣建は微騰 金圓建は低落 十一月中の物價指數に現る

中央銀行の調査による十一月中新京卸賣物價指數は左の如く國幣建は微騰を示し金圓建は建築材料を除くほか一般に低落した

(國幣建)九、十、兩月引續き稍々軟化の後を承け前月比〇、一、前年同月比〇、四の夫々微騰を示した、全品目五十品中騰貴二十三品低落十九品、保合八品、之を類別に見れば穀物、食料及嗜好品、建築材料三類の上騰に對し紡織品、金物、燃料並に雜品四類の低下で本月の物價指數は九八、九である

(金圓建)六月以降の騰勢は前月一五四、七と本指數創始以來の最高位を現出したが本月に及んで前月比三、六の低下を見た、尤も前年同月比に於て尚八、〇の高位にある、全品目五十品中騰貴十四品、低落二十九品保合七品、之を類別に見れば建築材料を除き一齊下向を辿つてゐる

大滿洲正義團 會員總數

【奉天國通】大滿洲正義團々員の康德元年十月末日に於ける總數は六萬二千四百三十九名に達するが原籍地別では奉天省を筆頭に山東省、河北省、吉林省、黑龍江省、山西省、熱河省、河南省、關東州その他で宗教別には孔教、佛教、キリスト教、回教等である

仙波、中野 兩代議士 昨夜來京

衆議院議員仙波久造、中野種一郎兩氏は十八日午後九時着ひかりで來京大和ホテルに投宿した

向野大尉機 不時着

【安東國通】十八日午前十一時十分頃〇〇隊飛行隊所屬機一機は向野大尉以下四名搭乘して北行の途中エンジン故障のため安奉線吟蜈塘驛附近に不時着したが機体搭乘者共異狀ない

松島農務司長 慰問のため 近く赴安

【安東國通】滿洲國政府より安東省下の軍隊々各機關を慰問すべき任務を受けて實業部農務司長松島鑑氏一行五名は來る廿三日來安する事となつた一行の旅程は、廿三日午前十時四十分旅客機で新義州飛

中央地方の連絡 系統を統制化 ‖民政部が刷新に着手す‖

民政部では新行政區劃實施以來鋭意地方省廳乃至は各縣公署との連絡並に公文書類の傳達系統其他事務管掌上命令及び報告、發送、收受等に關し統一化すべく考究中のところ今後は出來得る限り民政部總務司より各省總務廳との間に連絡し、從來稍々もすれば總務系統を通らない公文書の發受が行はれ、統制上の缺陷あつたに鑑み、大いに此點に留意して連絡の統制を圖る事となつた

圖們に强盜

【圖們十八日發國通】十七日午後十時圖們中區市場通り滿人雜貨商吉春成商店姿錫春(四八)方へ二名の滿人强盜押入り、店員王開國(二四)を鐵棒にて頭部を粉碎即死せしめ更に主人姿の顏面に瀕死の重傷を負はせ、賣上げ金十三圓を强奪逃走した、急報に接せる領警は直ちに憲兵隊その他に報告、犯人捜査網を張つたが、この警備混雜の最中を狙ひ、現場から五丁も離れぬ西區滿人燒酒商吳豐年(三二)方へ拳銃携帶の强盜潜入し主人を脅かして三百餘圓を强奪悠々引上げた、手口其他人相等同一犯人と睨み、警備各機關を總動員して逮捕につとめてゐる、四人殺し事件がまだ迷宮の儘の圖們で歲末も押迫つて此の慘劇を見市民は戰慄してゐる

凱旋除隊兵離滿

【大連國通】若山部隊の凱旋除隊兵は十八日午前七時二十五分及び十九日午前七時二十分同卅五分の三回に分れて何れも東京に一泊の上十九日午後一時大連出帆の御用船で離滿することとなつた

歐洲の極東進出に對抗 優秀船三隻新造

【東京國通】英佛獨伊等歐洲列强が何れも自國海運界の不況打開に腐心し、今や擧つて極東進出を企圖し現にドイツ、イタリーの船會社中には其目的の爲に一萬五千噸級、速力二十節以上の世界最新型優秀船を數隻建造中であることが漸次判明しつゝあるので、我が日本郵船でもこれに對抗して今回一萬二千噸級、速力十六節以上の優秀貨客船三隻を建造することになつた

だから出世しようと思へばどうしても大學の肩書が必要で猫も杓子も大學だ、だから學校の勉强の如きほんのお義理一遍の形で、心は勉强には無い、然し今や時勢は一變した三四年度の女大學生の持つ社會的背景は、最早や昔日の如き暢氣なものでは無い、澎湃として押し寄せる社會不安は彼等を押し包んでゐる、一方學生の質も以前とはグッと違つて來て、けふ日では貧しい嚢中を割いて學校に出すからには父兄の方でも餘程頭の良い向學心に燃えた娘ででも無ければ學校に入れない、自然女學生の勉强も眞劍になつて學校は再び眞面目な勉强の道場となつた、この人生に對する眞劍さ、この好學心の旺盛な態度、此等はやがて一九三四年の女大學生を立派な市民に磨き上げるのに與つて大いに力があるであらう

金泰同情金寄附

金泰洋行では歲末同情資金として金百圓を寄附、十七日地方事務所社會係へ屆けた

居住消息

▲鈴木正吉氏(山形縣)鐵嶺から和泉町黒木寮三百三十三號へ
▲後藤治基氏(愛媛縣)安東から平安町二丁目十號ノ二へ
▲深川家成氏滿井驛から白菊町三丁目十四號ノ二へ

轉居

▲堀內正男氏山吹町から和泉町三丁目白山寮三百二十號へ
▲寺出辰次郎氏羽衣町から祟智胡同二百八號へ
▲柴田卓氏入船町から清明街一百八號地へ
▲向井榮熊氏花園町から和泉町三丁目白山寮三百三十二號へ
▲田中繁氏羽衣町から同上へ

吉凶禍福

▲伊藤鼓平氏(入船町三丁目七番地)長男義雄さん十四日出生
▲富川ふでさん(老松町一丁目 番地)十七日午前五時死亡
▲上原實氏(白菊町三丁目十二號ノ一)妻只子さん十七日午前二時死亡

ジヤズと浮氣 昔の夢

一九二〇年頃は好景氣時代で結婚とか職業とか云ふ問題も難なく解決した、その頃は男でも女でも大學を出さへすれば、好い地位にありつけた、

西公園でも お正月の用意 廿二日から盆栽賣出し

西公園でもお正月の準備が始つた、西公園では毎年正月用床飾り用松竹梅の盆栽を賣り出すが今年も百鉢分の材料を廣島縣に注文してゐたところ十七日松、竹、梅、南天、福壽草、小石などが到着したので早速植込みを初めた、値段は松竹梅が三圓程度から十五圓位まで、花卉類が五、六十錢から三圓位まで、なほ賣出しは二十二、二十三、二十四、廿五の四日間公園溫室で行ふ

女人婆羅門

(舞臺上演 映畫化)

長田秀雄

西正世志畫

(三十八)

殺氣調(六)

夜になつた。

圍爐裡の前で、人里から仕込んで來た燒酎を、ぐび〳〵と、咽喉を鳴らして、佛頂面をしながら飲んでゐた矢坂が、

「えゝ、もうこんな拙い酒が呑めるもんか」

と、叫んで、茶碗を爐べりに叩きつけた。

西山聖庵、高崎丹後、鼠の松公の三人が、その權幕に驚いた。

「親分——どうなすつたんです、お氣に入らねえことがあつたら、この松公へ、云つて下せえ」

「こ、こんな拙い酒が呑めるか、と云ふんだ」

「拙い酒——と、親分は仰るが、燒酎のうちでは、宮川燒酎と申して、一番上等なんでさ」

「宮川だらうが、神川だらうが、拙い酒は拙いぞ」

松公は、ほたを火箸で、つゝつきながら、

「いけません——宮川を貶すなんて、燒酎黨の沽券物だ。拙い酒ぢやなくて、親分には、拙い事があるから、酒が拙くなつたんだ」

「殴るぞ！」

矢坂が佛手柑のやうな堅い拳を振り上げると、

「うわあつ」

と、松公が、すくんだ。

「いやに燻ぶるぢやないか。もつと、好く燃えるほたを持つてこい」

聖庵は、つんけんと、やけに不機嫌な矢坂を尻目にかけて、

「丹後——お前も一杯遣れ」

と、茶碗を差出した。

「俺は、もうげつぷが出さうだ」

「久し振で、松公が買つてきたやつだ」

「家がグラ〳〵する」

「酷いやつだ」

とろんとなつた醉眼を上目につかつて、聖庵は、頬杖をついて、唄ひ出した。

かーりんで、
かーりんで、
こくしんで、
かーりん、まーいの、
じよんぶん、
さんじゆうどりん、
おらさ、
しんくされ、

「あつはつはは——聖庵さん、そりや、一體、なんの唄だね」

聖庵は、湯章魚のやうにぶつとふくれながら、

「これは阿蘭陀の唄だ。お前達に分るもんか」

「あつはは、俺は、唐人の寢言かと思つたよ」

「俺が、蘭方醫をやつてゐた頃、長崎の港で、しきりに時花つてゐた阿蘭陀唄だ。長島の諏訪祭といふ秋のお祭に、踊の繪として子供衆や藝子衆が、よく唄ふ。俺は、これを蘭館の甲必丹から習つたよ」

「また、聖庵の長崎噺がはじまつた」

聖庵は、嘲戯はれながら、また歌を續けた。

よろなあ、くとるしゆ
へるけんす、
もらい、
まあああん
れいく、
こうむ、

「聖庵さん——それも和蘭陀の唄ですかい」

鼠の松公が、あざとい冷笑を浴せかけると、こちらは矢坂が、

(今夜は、どうしても、お藤を手に入れなければ……)

惱ましい、苦しい顔を擧げた。

聖庵は、圍爐裡の傍に、醉倒れ